

令和 2 年度

事業報告書

《社会福祉法人ふたば会》

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、2度の緊急事態宣言が発令され、外出の自粛要請や休校・休業要請など、日常生活を制限される状況が続き、生活様式が大きく変化した。このコロナ禍により、これまでに有った多種多様な社会的つながりが阻害され、高齢者にとって社会的孤立が特に深刻な影響を与え、心身の健康悪化を引き起こす可能性が高まっている。

このような中で、令和2年度は、各事業においてその対応に努めた。入所及び通所事業においては、新型コロナウイルス感染対策レベルに応じて感染対策の実施を行った。また、サービス内容については、制限下の中で可能な限りの個別ケアのさらなる充実を図り、科学的根拠に基づいたサービスの展開に努めた。

特養ふたば荘においては、介護記録システムを導入し日々の記録からのアウトプットを活用した科学的介護の推進体制の構築を行い、運用を開始した。課題としては、今後益々活用されるであろう情報コミュニケーション技術に対応すること、及びICTスキルに精通した人材を確保することが求められる。

居宅介護支援事業については、受任件数の増加により3期連続で当期資金収支差額黒字と成り、医療機関との連携強化、研修会参加による資質の向上を図った。

在宅介護支援センターについては、民生委員協議会や見守り・SOSネットワーク協議会、医療連携協議会その他の地域会議に出席し、連携を強化しながら地域包括ケアの確立に参画した。また、介護予防教室、PPK体操の実施にも取り組み、介護予防、自立支援の推進に寄与した。

ふたばの森については、稼働率維持により3期連続で当期収支差額が黒字となった。また、ふたばの森においても、介護記録システムを導入し科学的介護の推進体制の構築を行い、運用を開始した。それから、地域貢献として、住宅地に立地する条件を生かした移動販売の常設化と充実を図り、地域共生社会の社会資源としての役割を果たすと共に、角野地区で介護予防教室（元気もりもり教室）を主催し、地域の介護予防にも貢献したが、今後も上部東地区の予防拠点施設としての役割を果たして行きたい。課題としては、グループホームにおける資金収支差額が大幅に赤字となっており、運営状況を分析してサービスの質の低下を起こさないよう注意しながら改善を行うことが求められる。

1. 施設の概要

法人の沿革

昭和53年	8月	4日	社会福祉法人ふたば会設立
昭和54年	4月	5日	特別養護老人ホームふたば荘開設（定員50人）
昭和57年	4月	1日	特別養護老人ホームふたば荘定員80人変更開所
平成9年	4月	1日	デイサービスセンターふたば荘及び 在宅介護支援センターふたば荘事業開始
平成11年	10月	25日	居宅介護支援事業指定（3870500174）
平成12年	1月	5日	訪問入浴介護事業指定（3870500232）
平成12年	2月	25日	通所介護事業指定（3870500323）
平成12年	3月	17日	短期入所生活介護事業指定（3870500505）
平成12年	4月	1日	介護老人福祉施設指定（3870500570）
平成19年	9月	30日	訪問入浴介護事業廃止
平成23年	4月	19日	特別養護老人ホームふたばの森設置認可
平成23年	4月	22日	特別養護老人ホームふたばの森指定（3890500238）
		〃	グループホームふたばの森指定（3890500220）
平成23年	4月	28日	ショートステイふたばの森指定（3870502162）
		〃	デイサービスセンターふたばの森指定（3870502154）
平成23年	5月	1日	ふたばの森各事業所事業開始
平成27年	5月	31日	デイサービスセンターふたば荘事業休止
令和2年	3月	31日	デイサービスセンターふたば荘事業廃止

法人の土地・建物・定員

【所在地】	新居浜市船木字上原甲959番地1～4，962番地 985番地 974番地1 977番地1 980番地1，2，3
【敷地面積】	15,004.27㎡

《特別養護老人ホームふたば荘》	（補助）
（建物構造） 鉄筋コンクリート造一部2階建	日本自転車振興会
（建物面積） 1,999.68㎡	193,220千円
（定員） 80人	新居浜市
	15,000千円

《デイサービスセンターふたば荘》	
（建物構造） 鉄骨造平屋建	（補助）

(建物面積)	396.25㎡	国庫補助
(定員)	35人	44,639千円
《在宅介護支援センターふたば荘》		県補助
(建物構造)	鉄骨造平屋建	22,319千円
(建物面積)	71.15㎡	新居浜市
		14,870千円

【所在地】 新居浜市船木字元船木甲3101番地1、甲3102番地2、
甲3098番地

【敷地面積】 4,552㎡

《特別養護老人ホームふたばの森》	(補助)	
(建物構造)	鉄骨造2階建	新居浜市
(建物面積)	1,903.82㎡	177,975千円
(定員)	29人	
《ショートステイふたばの森》		
(建物構造)	鉄骨造2階建	
(建物面積)	496.44㎡	
(定員)	16人	
《デイサービスセンターふたばの森》		
(建物構造)	鉄骨造2階建	
(建物面積)	287.4㎡	
(定員)	30人	

【所在地】 新居浜市船木字元船木甲2999番地7、甲3001番地3

【敷地面積】 999.37㎡

《グループホームふたばの森》	(補助)	
(建物構造)	鉄骨造2階建	新居浜市
(建物面積)	665.85㎡	52,612千円
(定員)	18人	

2. 職員現員

ふたば荘

(令和3年3月31日現在)

職員部門	特養(ショート含)	デイサービス	支援センター	居宅介護	合計
施設長	1				1
総務副部長	1				1
事務員	2【1】<1>				2【1】<1>
生活相談員	3<2>				3<2>
機能訓練指導員	1				1
ソーシャルワーカー			1<1>		1<1>
介護支援専門員	1<1>			5<1>	6<2>
介護部長	1				1
主任介護職員	1<1>				1<1>
介護職員	35(3)【10】<1>				33(3)【10】<1>
医師(嘱託)	3(3)				3(3)
看護職員	4				4
管理栄養士	1				1
調理員	5				5
清掃員	1【1】				1【1】
合計	58(6)【12】<4>		1<1>	5<1>	62(6)【12】<4>
【業務委託】					
運転手					
宿直員	3				3
介助員					
合計	3				3

※ () 嘱託 【 】 パート < > 兼務

ふたばの森

(令和3年3月31日現在)

職員部門	特養	デイサービス	ショート	グループホーム	合計
施設長	1				1
事務員					
生活相談員	2<1>	2<1>	2<1>		3<2>
管理者				1	1
機能訓練指導員	1	1			2
介護支援専門員	1<1>				1<1>
介護職員	15(3)	6(1)【1】	7	15【2】	43(4)【3】
医師(嘱託)	3(3)				3(3)
看護職員	2	2<1>		1【1】<1>	4【1】<1>
管理栄養士	1				1
調理員	4(1)【1】				4(1)【1】
清掃員	2【2】				2【2】
合計	31(7)<1>【3】	11(1)【1】<2>	9<1>	17【3】<1>	64(8)【6】<3>
【業務委託】					
宿直員	3				3
合計	3				3

※ () 嘱託 【 】 パート < > 兼務

3.令和2年度人事

(令和3年3月31日現在)

	職名	氏名	採用日	備考
採用 22人	介護職員	石井 淳平	令和2年4月1日	荘特養
	パート介助員	佐伯 妙子	令和2年4月1日	荘特養
	パート事務員	川村 真紀子	令和2年5月1日	荘特養
	相談役	白石 正	令和2年5月12日	荘特養
	介護職員	白鞘 和久	令和2年7月1日	森特養
	パート介護職員	石原 恭子	令和2年7月22日	森短期
	パート介護職員	小林 伽乃子	令和2年8月1日	森短期
	機能訓練指導員	榊 諒介	令和2年8月1日	森特養
	パート介助員	木場 小麦	令和2年8月17日	森特養
	介護職員	木内 道代	令和2年9月5日	GH
	介護職員	高橋 みどり	令和2年9月15日	GH
	介護職員	河端 時子	令和2年9月23日	GH
	介護助手	大西 千恵子	令和2年10月18日	荘特養
	介護助手	岩井 マチエ	令和2年11月1日	荘特養
	介護職員	鈴木 佳代	令和2年12月1日	荘特養
	パート介護職員	持主 笑奈	令和2年12月1日	GH
	介護職員	原田 良佳	令和3年1月1日	荘特養
	介護職員	尾崎 貴也	令和3年1月13日	荘特養
	栄養士	村上 浩恵	令和3年3月1日	荘特養
	介護職員	高岡 享子	令和3年3月10日	荘特養
	調理員	竹田 景子	令和3年3月15日	荘特養
	パート介護職員	山田 節子	令和3年3月25日	GH

(令和3年3月31日現在)

	職名	氏名	退職日	備考
退職 16人	介護職員	荒牧由美	令和2年6月30日	荘特養
	介護職員	平田百花	令和2年7月31日	森特養
	パート介護職員	鈴木節子	令和2年9月30日	荘特養
	介護職員	上野照久	令和2年10月4日	荘特養
	看護職員	野並忠司	令和2年11月30日	森特養
	介護職員	白石紘士	令和2年11月30日	GH
	介護職員	高橋知穂	令和2年12月31日	荘特養
	介護職員	伊藤亜唯	令和2年12月31日	荘特養
	パート介護職員	小林伽乃子	令和3年1月19日	森短期
	介護職員	鈴木佳代	令和3年1月31日	荘特養
	介護職員	脇康広	令和3年2月15日	荘特養
	パート介護職員	山中美佐子	令和3年2月28日	荘特養
	介護助手	大西千恵子	令和3年2月28日	荘特養
	介護助手	岩井マチエ	令和3年3月14日	荘特養
	調理員	竹田景子	令和3年3月25日	荘特養
	調理員	藤田秀明	令和3年3月31日	荘特養

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所
デイサービスセンター
在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所

ふたば荘

特別養護老人ホームふたば荘

1. 総務及び経理

総合目標及び課題

法人の5か年計画の課題である持続可能な経営基盤の確立にある介護記録ソフトを導入し、ムラ・ムダを無くす業務改善と負担軽減に着手した。

また、安定した運営を保つため稼働率の維持と支出管理に努めた。

目標及び課題	成果等
(1) サービスの質の向上	① 事務処理の効率化により生じる時間で質の向上を目指したが、新職員体制での実務は、出勤状況により業務分掌が図れず、実務的な効率化が出来なかった。今後、購買担当職員の配置による支出管理を重点目標とすることが課題となった。
(2) 持続可能な経営基盤の確立	① 大規模改修計画を視野に入れた安定経営を目指し、月次事業報告により、全職員が意識できるように収入状況の情報発信を行い稼働率の維持を図った。 ② 介護記録ソフトを導入し、ICT化による業務改善と負担軽減に着手した。また、導入に係る費用についても、助成金支給制度を適切に活用し、支出管理を行った。
(3) 感染症予防対策	① 新型コロナウイルスの感染予防対策に注力し、必要な対策用品と衛生用品を不足なく準備した。また、調達に必要な経費も、緊急包括支援事業を活用し、支出管理を行った。
(4) 地域福祉サービスの創造と展開	① 新型コロナウイルスの感染拡大により、日常生活の制限が発生し、生活様式が変化した。可能な限り新しい生活様式に応じた地域との関りを構築・保持出来るよう、新たな役割を模索した。

2. 相談及び援助

総合目標及び課題

利用者がその人らしい生活を送れるよう、多職種や家族・地域と連携・協働してサービスが提供できるよう努めた。

目標及び課題	成果等
(1) 特養入所の稼働率の維持	① 稼働率95.6% (76.5人/日) と目標値9

<p>・向上のための取り組み</p>	<p>6. 2% (77人/日) には少し届かなかった。</p>
<p>(2) 看取り介護への積極的な取り組み</p>	<p>① 入所時に、将来に備え看取りについて、看取り指針に基づき説明を行い、利用者・家族の意向に沿って、施設内での看取りを行った。</p> <p>② 終末期を迎えた利用者の家族には、随時状況説明を行い、また、臨終の際は立ち会うことが出来るように支援を行った。</p>
<p>(3) 短期入所生活介護の稼働率の維持・向上への取り組み</p>	<p>① 1日平均4.0人の稼働実績となった。</p> <p>② 家族、CMへは記録を用いて利用状況について情報提供に努めた。また、サービスについては、本人・家族の意向に沿った短期入所サービス計画書を作成してサービスの提供を行った。</p>
<p>(4) 特養申込者・短期入所利用者増加への取り組み</p>	<p>① 積極的に居宅介護支援事業所に訪問は行わずに、利用調整用紙で空床情報の提供を行った。</p>
<p>(5) 苦情・相談受付</p>	<p>① 要望のあったご意見箱の運用を見直し、環境整備を行った。</p> <p>② 相談・苦情があった際は、速やかに事実確認を行い、経緯の説明を行えた。また、速やかに対応方法を検討し改善に努めた。</p> <p>③ 第三者委員を交えた苦情相談懇談会を、6月に書面開催にて実施した。</p>
<p>(6) 事故発生時の対応</p>	<p>① 事故発生時は、状況確認を行い速やかに家族に報告を行った。また、状況に応じ、受診等の適切な対応を努めた。</p>
<p>(7) 社会資源を活用したボランティアの受け入れ</p>	<p>① コロナウイルスの影響でボランティアの受け入れについては、一時的に中断となった。</p>
<p>(8) 利用者・家族・施設間の円滑な支援と調整</p>	<p>① 家族会については、例年6月・12月の2回開催してきたが、コロナウイルスの感染防止の観点から12月の開催は見送り、書面にて状況の報告を行った。</p>

3. 介 護

総合目標及び課題

・報連相・チームワーク・これが介護力

チームワークにて、不足する職員数を補いながら、利用者の生活を守るよう努めた。

愛媛県認知症介護実践者研修、リーダー研修、喀痰吸引研修に積極的に参加し、有資

格者の確保と職員育成に努めた。

その他、初任者研修や介護力向上研修などに参加して職員のレベルアップに努めた。

目標及び課題	成果等
(1) 統一した教育 (ストップ自己流)	① 介護力向上研修などフォローアップ研修に参加した。 ② 介護プロフェッショナルキャリア段位制度を導入出来るよう、介護アセッサー講習を受講した。
(2) 介護業務の効率化	① ケア記録システムを導入し、業務の効率化を図った。 ② 小さな事でも継続して出来る体制作りは、一度出来てしまうとつい忘れがちになっていた。注意して良いことと継続が必要なことを精査していくシステム作りに努めた。
(3) 報連相の充実	① 申し送り書を活用し、パート勤務者や交代勤務者まで、細部まで行き届くよう、毎日重複して伝達した。「聞いてないよ」が無いように申し送りを読むか申し送るかグループ毎に徹底実行した。
(4) 接遇の改善	① 接遇委員会を中心に、接遇の啓発活動に取り組んだ。 ② どなたにでも「笑顔で挨拶」が出来る様に、職種会で協議した。
(5) 安全に安心出来る生活環境作り	① 他職種で利用者一人ひとりに応じたプランを策定した。また、日常生活において策定されたプランを実施してモニタリングを行った。 ② 施設内の整理・整頓・清潔を保つように努めた。また、継続して実施できるよう検討を重ねることが課題となった。

4. 厨房

総合目標及び課題

・健康で安らぎのある、その人らしい暮らしが送れるよう、適切で安全な食事の提供を実施した。

目標及び課題	成果等
(1) サービスの向上	① ご家族からの持込食品などについては、ご利用者

	<p>の体調や状態等を配慮した上で、適切な管理を行い誤嚥防止に取り組んだ。</p> <p>② 嗜好調査や聞き取りにより利用者ニーズを把握し、行事に反映出来るように取り組んだ。また、アンコール献立をメインに提供をし、大変に喜ばれた。</p>
(2) 地域貢献	<p>① 新型コロナウイルス感染症が蔓延し、地域の方々との交流会等が感染拡大防止の観点より中止となり、地域貢献が出来なかった。</p>
(3) 発注の見直し	<p>① 相談員と連携し、適時利用者数の把握をしながら発注数を最適化して食品ロスの削減に努めた。</p> <p>② 品質・価格を考慮し、食材納入業者の見直しを行った。</p>

5. 機能訓練

総合目標及び課題

- ・利用者の心身の諸機能の維持回復を図るため、個別訓練計画書を作成し、各専門職との協働により実践に努めた。
- ・科学的介護実践に基づき利用者の自立支援のため身体機能、認知機能評価を定期的の実施し、その実践に努めた。
- ・今年度は、介護予防教室として角野地区に出向き、高齢者の運動について関わりをもった。

目標及び課題	成果等
(1) 利用者の心身の諸機能の維持、改善を目的とした生活リハビリの充実	<p>① 利用者全員の心身の定期的な評価を実施し、ケアプラン策定時に心身の状況から具体的協働内容の提示を行い、身体機能の評価及び認知機能の評価を実施した。</p> <p>② 個別機能訓練実施後の中間報告として、3ヶ月ごとに利用者及び家族に対し口頭又は書面（郵送）で説明しており、その際は、施設ケアマネにも状況の確認を行い、協働して継続的に実施した。</p>
(2) 利用者への安全な介助方法、介護者の負担を軽減させる介助方法の指導	<p>① 利用者の身体機能に応じた介助方法の指導、福祉用具の選択をカンファレンス等を通して実施した。利用者の介助中における事故が以前よりは軽減しており、安全な介助方法が徐々に浸透して行くよう取り組んだ。</p>
(3) 褥瘡予防、改善へのアプ	<p>① 褥瘡ハイリスクの利用者に対して褥瘡予防、改善</p>

ローチ	<p>のためポジショニングシートと体位変換表を作成して実施した。褥瘡治癒は早期に実施できているが、褥瘡新規発生者が以前よりも増加している傾向にあり、今後は褥瘡予防をどのように実施していくかが課題となった。</p>
-----	--

6. 健康管理

総合目標及び課題

・入所者の疾病を理解し、居心地の良い場所を提供しながら、安心して満足な生活が送れるよう嘱託医・病院と連携して、健康状態の維持や早期発見・治療を行い悪化予防に努めた。

目標及び課題	成果等
<p>(1) 日常生活の健康管理及び質の向上</p>	<p>① 1月よりケア記録システムが導入されたが、十分な活用には至らなかった。今後、健康状態のデータ化・他職種との共有が課題となった。</p> <p>② 春・秋の検診結果・病状の説明を行うよう心がけたが、コロナ禍にて面会の中断もあり、全ての利用者に対して検査結果の報告ができていない現状の中で、今後のICTを活用しての報告が課題となった。</p>
<p>(2) 医療業務の見直し・修正</p>	<p>① ケア記録システムの導入では、入力のみしか行っていないが、今後、医療業務のマニュアル・記録の方法を見直し、業務の簡素化・効率化が課題となった。</p>

7. 職員研修参加状況(ふたば荘)

月	日	内容	場所	出席者
8	24~28	認知症介護実践者リーダー研修	松山	介護職員1名
9	3	介護技術向上研修「身体介護」	松山	介護職員1名
	4	介護技術向上研修「移動・移乗」	松山	介護職員1名
	29~10/2	認知症介護実践者リーダー研修	松山	介護職員1名
10	4	認知症介護実践者リーダー研修	松山	介護職員1名
	22	介護技術向上研修「ノーリフティング」	松山	介護職員1名
	23	介護技術向上研修「姿勢と動きの支持」	松山	介護職員1名
	26~30	認知症介護実践者研修	松山	介護職員1名
11	10	認知症介護実践者リーダー研修	松山	介護職員1名
	17	介護技術向上研修「姿勢と動きの支持」	松山	介護職員1名

8. 事業実施状況

月	保健衛生	施設管理	施設整備等	職員厚生	その他
4	/20 /27 入居者健康診断(76名) 調理員検便(7名)	/8 /15 /24 奉仕デー 暖房停止 倉庫整理		新型コロナウイルス感染症予防 対策の未実施	
5	/6 /14 /25 /31 寝具納品 寝具引取 職員検便(53名) 調理員検便(7名)	/13 奉仕デー	事務所デジタル複合機更新	/27 /10 /31 避難訓練 はあとねっと発行 内部学習会	
6	/1~30 /29 職員健康診断(35名) 調理員検便(7名)	/17 /19 /15 /25 奉仕デー 消防設備点検 冷房開始 空調設備清掃点検	支援車両更新	/25 内部学習会	
7	/31 調理員検便(7名)	/8 /29.30 奉仕デー 床洗浄		/10 /22 はあとねっと発行 内部学習会	
8	/31 調理員検便(7名)	/12 /3 奉仕デー 受水槽立ち入り検査	廊下スチーマコンベンションボード更新	/7 内部学習会	
9	/12 /17 /28 寝具納品 寝具引取 調理員検便(7名)	/9 /15 /26 奉仕デー 冷房停止 浄化槽保守点検		/10 /11 はあとねっと発行 内部学習会	
10	/1~31 /12 /31 職員健康診断(16名) 入居者健康診断(78名) 調理員検便(7名)	/14 /31 奉仕デー 浄化槽保守点検		/9 内部学習会	
11	/12 /30 イワルンガ予防接種(職員53名入居者77名) 調理員検便(7名)	/11 /15 /7 /26 /1 奉仕デー 暖房開始 受水槽清掃 浄化槽保守点検 電気設備年次点検	PCタブレット導入	/10 /14 /9 はあとねっと発行 総合避難訓練 内部学習会	
12	/28 /16 調理員検便(7名) 結核健診レントゲン撮影(73名)	/9 /24 奉仕デー 床洗浄	介護記録ソフト導入	法人内実践発表 永年勤続者表彰 (25年):1名 (20年):1名 (10年):6名	
1	/31 調理員検便(7名)	/13 /7 奉仕デー 消防設備点検		/10 /8 はあとねっと発行 内部学習会	
2	/28 調理員検便(7名)	/17 /20 奉仕デー 浄化槽保守点検		/10 内部学習会	
3	/29 調理員検便(7名)	/6 /24 /27 奉仕デー 浄化槽法定点検 浄化槽保守点検		/10 はあとねっと発行	

9. 特養利用者の概要

(1) 利用者の状況

令和3年3月31日現在

保険者別入所状況

保険者別	男	女	計
新居浜市	13	59	72
西条市	1	0	1
四国中央市	1	3	4
今治市	0	1	1
愛南町	0	1	1
宇和島市	0	1	1
合計	15	65	80

在所期間の状況

期 間	男	女	計	比率(%)
20年以上	0	0	0	0.0%
15年以上～20年未満	0	0	0	0.0%
10年以上～15年未満	0	3	3	3.8%
7年以上～10年未満	2	9	11	13.8%
5年以上～7年未満	1	7	8	10.0%
3年以上～5年未満	2	12	14	17.5%
1年以上～3年未満	7	17	24	30.0%
1年未満	4	16	20	25.0%
合 計	16	64	80	100.0%

利用期間が3年未満の方で全体の55.0%を占め、全利用者の平均利用期間は3.6年となっている。

年齢構成

区分	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	合計	平均年齢
男	0	4	1	4	4	1	2	0	16	78.1
女	1	0	4	7	7	22	11	12	64	86.9
合計	1	4	5	11	11	23	13	12	80	85.1

①90歳以上の利用者は全体の36%を占めており、平均年齢は85.1歳となっている。

②最高齢者は、男性は94歳、女性は99歳で、最も若い利用者は、男性66歳、女性62歳である。

要介護度の状況

〔要介護度〕

	自立	支援	1	2	3	4	5	合計	平均
男性	0	0	0	0	5	7	4	16	3.94
女性	0	0	0	0	12	25	27	64	4.23
合計	0	0	0	0	17	32	31	80	4.18
前年度実績	0	0	0	0	15	30	35	77	4.25

利用者の要介護度は、要介護4・5に認定された方が全体の79%を占めており、平均要介護度4.18となっており、前年度実績4.25からは少し下がっている。

(2)入退所状況

利用者状況

〔月別新規入所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	0	0	0	1	0	1	0	1	3	1	0	7
女	0	0	0	1	4	2	1	1	2	1	2	3	17
計	0	0	0	1	5	2	2	1	3	4	3	3	24

〔入所前住居〕

区分	在宅	病院			介護施設			その他施設	合計
		一般病棟	精神病棟	療養病棟	介護療養施設	老人保健施設	特別養護老人ホーム-A		
男	2	2	1	0	0	1	0	1	7
女	4	2	2	2	0	2	0	5	17
計	6	4	3	2	0	3	0	6	24

全利用者のうち75%の利用者の方が施設・病院等からの入所である。

退所者状況

〔月別退所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	0	0	0	1	1	0	2	3	2	2	0	11
女	0	0	0	5	2	1	0	2	0	0	0	3	13
計	0	0	0	5	3	2	0	4	3	2	2	3	24

24名の方が退所となり、死亡退所が23名となっている。

1名は長期入院により退所になっている。

(3)日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

日常生活自立度（寝たきり度）

[利用者80名]

	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。	
ランクJ 生活自立	1 交通機関等を利用して外出する。	0
	2 隣近所なら外出する。	2
	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。	
ランクA 準寝たきり	1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。	5
	2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。	9
	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。	
ランクB 寝たきり	1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。	17
	2 介助により車椅子に移乗する。	32
	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。	
ランクC 寝たきり	1 自力で寝返りをうつ。	3
	2 自力では寝返りもうたない。	12

寝たきりに当てはまるランクB・Cの利用者の方で全体の80%を占め、重度化が認められる。

認知症老人の日常生活自立度判定

[利用者80名]

項目	痴 呆 の 程 度	
正 常	認知症の症状無し	1
ランクI	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	2
ランクII	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。	18
	a 家庭外で上記IIの状態が見られる。	11
	b 家庭内でも上記IIの状態が見られる。	7
ランクIII	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	36
	a 日中を中心として、上記IIIの状態が見られる。	26
	b 夜間を中心として、上記IIIの状態が見られる。	10
ランクIV	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。	18
ランクM	著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	5

80名の内、ランクIII以上に位置づけされる利用者の方は71%となっている。

(4) ケアプラン実施状況

〔ケアプラン：立案状況〕

項目	自立支援	日常生活援助	離床	医療面	運動	褥瘡 ハリスタ	排泄	声かけコミュニケーション	整容	転倒予防
人数	10	18	10	12	3	11	3	5	3	5

①個々の内、最も重要と思われるもの各1を挙げている。

②個々のケアプランについては、包括的自立支援プログラム方式により6ヶ月毎及び状態に応じケアカンファレンスにて見直し、サービス計画に基づいて毎日実践しその状況を記録している。

(5) 利用者医療状況

疾病状況

順	疾病名	人数	順	疾病名	人数
1	アルツハイマー型認知症	29	14	レビー小体型認知症	2
2	脳梗塞後遺症	10	15	高次脳機能障害	1
3	糖尿病	4	16	混合型認知症	1
4	統合失調症	4	17	頸椎症性脊髄症	1
5	脳出血後遺症	4	18	心室正期外収縮	1
6	認知症	4	19	躁鬱病	1
7	パーキンソン症候群	3	20	頻脈性心房細動	1
8	小児麻痺	3	21	脳血管性認知症	1
9	慢性心不全	3	22	偽痛風関節炎	1
10	老人性精神病	1	23	老年期認知症	1
11	高血圧	1	24		
12	関節リウマチ	1	25		
13	肥大型心筋症	2	合計		80

施設利用者年齢が高齢化していることに加え、認知症・脳血管障害が半数以上を占め、自立度が低く介護度が上がっていることに加え、介護者の高齢化・単身・介護力の低下により入所となられる方が多くなっている。

受診状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均
実人数	4	6	10	4	8	8	12	8	11	10	6	7	94	7.8	0.26
延人数	4	7	12	4	8	8	17	10	10	10	6	6	102	8.5	0.28

利用者・ご家族の要望での医療機関受診は、積極的に行っている。

入所前より通院されていた病院への定期受診の方が複数名おられた。

急変による心疾患・骨折等は、当施設で対応困難である為、医療機関での治療依頼となるため、受診・入院の流れとなるのが毎年同様にあった。

入院状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均 入院人数
実人数	2	4	5	6	3	3	4	5	5	2	4	3	46	3.8	0.13
延日数	27	78	124	73	70	62	50	65	61	62	49	60	781	65.1	2.1

慢性疾患・既往があり入院を繰り返したり、高齢による入院後の症状改善の長期化となる方や、死亡退院・退所となられる方もいた。

精神科往診

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2.0
実人数	21	20	20	20	21	20	19	18	18	17	17	17	228	19.0
延人数	29	28	27	27	26	32	30	29	25	26	27	22	328	27.3

入所後、認知症で周辺症状が出現し、医師に相談・診察を受け内服等の治療を受けることや、入所前より精神科に通院しており継続となられる方も増加した。

歯科往診

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
回数				2	1	1	2	1	1	1	1	2	12	1.3
実人数				9	4	6	6	7	4	7	5	4	52	5.8
延人数				11	4	6	7	7	4	7	5	5	56	6.2

新年度早々コロナにより歯科往診が一時中断しており、7月の再開時より新規入居者・義歯作成者の数が主であった。

(6) 身体拘束実施状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1. 車椅子拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. チューブ拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. つなぎ服拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. ミトン型手袋による拘束	30	31	30	31	31	30	18	11	0	0	0	0	212
延べ日数	30	31	30	31	31	30	18	11	0	0	0	0	212

身体拘束ゼロについては、施設全体で取り組んでおり、身体拘束防止委員会を設置し、利用者の身体拘束を個別に検討し、福祉用具の導入や現在行われている介護を見直し、よりよいケアの実現を目指すよう努めた。現在はミトンを使用している利用者は一人。本人は経口摂取を望まれているがなかなか進めていくことが難しい為お楽しみ程度のおやつを口から食べていた。少しでもミトン拘束時間を短くする為に、リビングに離床していただき見守りの中ミトンを外していた。10月入院されてから身体レベル低下見られ、様子観察を行っていたが11月11日委員会開催し、ミトン拘束の必要性がないと判断し拘束解除を行った。

(7) 機能訓練実施状況

個別機能訓練を行うにあたっては、ケアプランと連動しながら個別機能訓練計画に基づき機能訓練指導員、看護職員、介護職員、生活相談員、その他の職種の者が協働して計画的に実施した。また、機能回復訓練のひとつに、理学療法士が担当するリハビリテーションがあるが、これは医療行為であるために医師の情報提供書、又はリハビリ訓練の指示箋が必要なため、骨折などで入院し、退院後も当施設で継続して訓練が必要な時、または、新規入所時においても、在宅のリハビリを継続して希望される時は、かかりつけ医の情報提供書、又はリハビリ指示箋に基づいて実施した。そして、個別機能訓練実施内容については、中間(3月毎)に直接もしくは郵送にて本人、家族の方に説明を行った。

〔個別訓練実施内容〕

項目／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運動療法	実人数	51	45	44	41	30	40	39	37	39	39	35	35	475
	延人数	75	75	75	76	77	76	76	76	75	77	77	78	913
歩行訓練	実人数	9	9	10	7	8	7	9	7	7	8	6	5	92
	延人数	13	14	12	12	15	15	13	13	14	13	13	10	157
物理療法	実人数	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	51
	延人数	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	58
ADL訓練	実人数	18	16	19	17	13	14	17	13	12	12	11	13	175
	延人数	42	43	43	44	47	48	41	42	41	45	41	40	517

・訓練内容として

プラットホーム、ベッドサイドでの徒手的な運動療法、歩行訓練、物理療法、ADL訓練を実施している。尚、個別重視で、個別訓練の時間、ゆとりある対応で取り組んでいる。また褥瘡予防のため褥瘡リスクが高い利用者へのポジショニングを他職種と連携し情報を共有している。

(8)グループケア実施状況

利用者のグループ編成（すみれグループ：28名 たんぽぽグループ：24名 ひまわりグループ：28名）は例年と変わりなく慣れた職員と穏やかに施設生活を送って頂き、利用者との多くの関わりを持つことで家庭的な雰囲気作りに努めた。

共通行事実施状況

実施日	行事内容	場 所	グループ別 参加利用者数			
			すみれ	たんぽぽ	ひまわり	計
8/5	夕涼み会	ふたば荘中庭	10	5	12	27
8/19	お盆の法要	デイサービスセンター	16	7	11	34
9/23	敬老会	デイサービスセンター	13	9	15	37
9/16	観月会	デイサービスセンター	11	9	14	34
10/21	運動会	ふたば荘中庭	12	14	14	40
合 計			62	44	66	172

クラブ活動 実施状況

(お誕生会)

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
全体	2	2	3	4	5	7	4	6	1	5	5	4	48
合計	2	2	3	4	5	7	4	6	1	5	5	4	48

(ホーム茶屋)

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
すみれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
たんぽぽ	0	0	0	26	28	30	29	14	14	14	12	27	194
ひまわり	0	0	0	34	35	38	29	15	16	17	20	33	237
合計	0	0	0	60	63	68	58	29	30	31	32	60	431

(どれみ広場)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
すみれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
たんぽぽ	0	0	0	11	0	16	15	15	0	0	0	0	57
ひまわり	0	0	0	18	0	16	15	14	0	0	0	0	63
合計	0	0	0	29	0	32	30	29	0	0	0	0	120

(カラオケ)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
すみれ	5	9	15	5	6	11	8	10	10	11	10	9	109
たんぽぽ	2	2	6	3	1	12	9	8	11	13	8	11	86
ひまわり	11	7	11	21	17	24	17	18	20	28	31	32	237
合計	18	18	32	29	24	47	34	36	41	52	49	52	432

《すみれグループ》

(入浴実施状況： 2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
仰臥位入浴	159	209	170	184	154	186	165	143	182	469	144	170	2,335
座位入浴	41	42	32	26	31	35	32	26	27	45	44	54	435
自立補助入浴	32	29	30	31	31	32	32	28	36	36	24	27	368
自立入浴	8	9	8	8	8	9	8	7	9	9	16	18	117
シャワー浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	240	289	240	249	224	262	237	204	254	559	228	269	3,255

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
外出(ドライブ・外食含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
施設内行事		12	15	9	6	11	0	8	12	19	25	61	203
合計		12	15	9	6	11	0	0	20	19	25	61	211

《たんぽぽグループ》

(入浴実施状況： 2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
仰臥位入浴	86	93	82	90	80	80	102	93	95	101	102	93	1,097
座位入浴	21	24	20	15	33	33	24	14	21	39	24	42	310
自立補助入浴	29	36	29	28	24	44	40	35	36	5	10	9	325
自立入浴	8	17	16	16	16	17	17	16	17	26	17	18	201
シャワー浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	144	170	147	149	153	174	183	158	168	171	153	102	1,933

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
ドライブ(外食を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設内行事		9	14	11	9	4	0	10	31	51	55	59	281
合計		9	14	11	9	4	0	10	31	51	55	59	281

《ひまわりグループ》

(入浴実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	111	105	99	84	89	87	93	80	87	95	95	107	1,132
座位入浴	27	32	45	32	33	32	35	31	24	24	24	27	366
自立補助入浴	32	40	44	40	46	48	53	47	48	60	72	77	607
自立入浴	29	24	21	30	32	28	26	28	30	29	21	24	322
シャワー浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	199	201	209	186	200	195	207	186	189	208	212	235	2,427

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ドライブ(お買い物・外食・映画を含む)	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
施設内行事	17	30	14	13	13	0	12	43	63	71	78	48	402
合計	17	30	14	13	13	0	16	43	63	71	78	48	406

給食栄養状況

栄養ケアマネジメントの実施により、一人ひとりの栄養ケアプランが十分に実施されるよう、他職種協働で取り組みを行い、利用者の個別性に対応している。

栄養ケアマネジメント

月	ケアマネジメント実施数 (人)	低 リスク	中 リスク	高 リスク	合 計
4月	78	44	31	3	78
5月	77	49	25	3	77
6月	77	38	30	9	77
7月	74	42	29	3	74
8月	76	47	26	3	76
9月	77	44	26	7	77
10月	78	49	26	3	78
11月	75	48	24	3	75
12月	74	48	25	1	74
1月	76	53	21	2	76
2月	78	52	22	4	78
3月	76	52	22	2	76
合 計	916	566	307	43	
月平均	76.3	47.1	25.6	3.6	

栄養ケアマネジメントによる一人ひとりへの細かいプランを立て実施しています。1ヶ月に5%以上の体重減少があった方又は、血液検査で血清アルブミン値3.0ml/dl以下の方は、高リスクと定義され、栄養リスクは、高リスクとなります。高リスクの方の詳細は、血清アルブミン値が基準値に達していない方が殆どでした。今後もご利用者様のご意見を傾聴し、個々人に合ったケアマネジメントを実施致します。

食事形態	主食形態					副食形態				流動食
	御飯	お握り	全粥	ゼリー 粥	ミキサー 粥	普通菜	ソフト 食	ゼリー 食	ミキサー 食	流動食
ご利用者数 (人)	33	6	23	15	1	34	26	17	1	2

食事形態において、主食（御飯）が食べられる方は全体の41%で、普通菜を食べられている方は42%です。58%の方は、ソフト食、ゼリー食、ミキサー食等に加工が必要です。ご利用者様の体調や嚥下機能状態は、日々刻々と変化し、一人ひとりの体調に合わせた食事の提供が出来る様に気を配っています。食事摂取量が低下した場合は、食事量を半量に落とし不足分を栄養補助食品を使い、栄養を補充しています。これからも、穏やかな施設生活が送れるように食事やおやつ、行事食の提供を致します。

行事食の献立状況

月 日	献 立
5月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・ちらし寿司・すまし汁（たけのこ）・鱈の西京焼き・焼き空豆・小松菜の卵とじ・揚げ出し豆腐 ・フルーチェ
6月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・変わりご飯のおにぎり（わかめご飯・ゆかりご飯・鮭ご飯） ・コンソメスープ・唐揚げ・茄子の揚げびたし・餃子・じゃこ天・胡瓜の糲漬け・メロン
7月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・素麺・釜めしのおにぎり・野菜の天ぷら（茄子・おくら・舞茸・エビのフリッター・カリカリチーズ）胡瓜の酢の物 ・だし巻き卵・天の川ゼリー
8月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・鰻の蒲焼丼・かきたま汁・茄子の煮びたし・冷奴 ・野菜の浅漬け ・スイカ・水羊羹
9月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯（わかめご飯・混ぜご飯）・芋炊き（うどん入り） ・茄子の酢味噌和え ・ぶどう
10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・おにぎり・焼きそば・フランクフルト ・天ぷら（ポテト・サツマイモ・舞茸・キス・エビ） ・あんぱん・野菜ジュース・みかん
11月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯・鮭のちゃんちゃん焼き・さつま芋の甘煮・湯豆腐 ・卵焼き・大根なます・ほうれん草の胡麻和え ・ふたば荘蜜柑を使ったゼリー
12月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・握り寿司（たまご・鮭・帆立・えび・あなご・マグロ・鯛） ・茶碗蒸し・ほうれん草の白和え・フライドポテト・エビフライ・ロールケーキ
1月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯・寄せ鍋（豆腐・つみれ・白菜・葱・人参・春菊・鶏肉・ずわいがに） ・焼き鳥・紅白なます・フルーツ（いよかん） ・焼き芋・季節の和菓子
2月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・巻き寿司・いなり寿司・刺身盛り合わせ（帆立・マグロ・） ・メンチカツ・イカフライ・ポテトサラダ・高野豆腐の煮しめ ・サツマイモの甘煮・紅白饅頭・甘納豆
3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・握り寿司（たまご・鮭・帆立・えび・あなご・マグロ・鯛） ・茶碗蒸し・鮭の塩焼き・牛肉コロッケ・イカのリングフライ・白菜の煮びたし・金時豆・お好み焼き・焼き芋・プリン・リンゴ

今年、コロナウィルス感染症の拡大に伴い、自室での開催や規模縮小等、いつもとは違う形になりましたが、ご利用者様のご意見をお伺いし、メニューに反映を致しました。『また、食べたい。』気持ちを大切にして、継続を致します。今後共、宜しくお願い致します。

10. 指定居宅介護支援

・住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域のニーズに応じたサービスの充足と利用の支援を行った。関係機関との連携を図り、必要とされるサービスを過不足なく提供できるようサポート体制を整えた。

目標及び課題	成果等
(1) 質の高いサービスの提供	① コロナ禍という特殊な状況で利用者や家族への豊富な情報提供により、自立支援に向けた居宅サービス計画を多角的に提案した。 ② ケアマネージャーの資質向上のため、1名主任ケアマネの資格取得を行った。コロナ禍で研修機会が減ったので、リモート研修を取り入れた。
(2) 地域の医療・介護との連携の推進	① 医療機関と連絡を取り、入退院時の調整をスムーズに行った。 ② 多職種協働によりネットワークを広げ、サービスを一体的に提供できるよう支援した。 ③ 地域が必要としているサービスを見極め、適切な情報の収集と発信を行った。
(3) 利用しやすい事業所の運営	① 必要な時に安心して相談できる事業所になるよう、職員の人材育成に努めた。 ② 職員のコミュニケーション能力、ケアマネジメント能力の向上を目指した。 ③ 利用者がいつでも相談できるよう、ケアマネージャーへの連絡体制を整えた。

11. 在宅介護支援センター

・新居浜市地域包括支援センターが行う総合相談支援業務及び権利擁護業務等に協力した。

・在宅介護支援センターは次に定める事業を行った。

目標及び課題	成果等
(1) 相談体制の整備	① 地域の支部社協等の定期会議に参加して、相談内容による関係機関の連携体制について、調整を実施した。
(2) 地域課題の取り組み	① 新体制の地域ケアネットワークによる地域課題への取組体制整備として、地域関係者によるコアメンバー会の開催を実施した。法人による公益事業の内

<p>(3) 基本業務</p>	<p>容の検討を含め、引き続き意見集約を行った。</p> <p>延相談件数 62 件 (内訳：電話 19 件・訪問 38 件 来所 3 件・その他 2 件) 「認知症サポーター養成講座補助」 講師 5 回、演者 4 回 「船木地域ケアネットワーク推進協議会」： 2 回 「泉川地域ケアネットワーク推進協議会」： 0 回 泉川見守り・SOS ネットワーク協議会： 7 回 一般高齢者介護予防教室開催状況（上部東教室） 期間：令和 1 年 7 月～10 月/全 13 回開催 場所：角野公民館を使用。 参加者数：24 名（定員 25 名）</p>
-----------------	--

12. 委員会活動

目標及び課題	成果等
<p>【環境委員会】 利用者・職員が快適に生活出来る空間を提供できるよう、施設内外の環境整備に努めた。</p> <p>【サービス向上委員会】 施設生活や利用者個人に関わる課題について多職種で協議し、サービスの質向上を図った。</p> <p>【感染委員会】 感染予防に努めた。</p>	<p>① 月 1 回奉仕デイを実施し、施設内外の環境美化に努めた。奉仕デイの日を軸に 1 週間を作業週間とし、各部署で決められた場所の清掃を実施した。また、除草作業以外の清掃については、現状通り男性職員を中心に奉仕デイの日に実施した。</p> <p>② 花壇については、担当を決めずに定期的に作業週間中にで植木の剪定を実施した。</p> <p>③ コロナ禍で行事が中止になったこともあり、例年行っていた旧進入路の草刈りは実施しなかった。</p> <p>① コロナウイルス感染の影響で大幅に行事が縮小された。全体で取り組む行事の他に、個別での外出の支援の再開が期待されている。</p> <p>② 委員会の中で各行事や、各部署の検討議題など協議した。また、事故防止委員会や口腔ケア委員会とも連携を取り、課題の周知徹底を図る事が出来た。</p> <p>職員の手洗いチェック・体調チェックを行い、職員全体に対しての学習会や感染対策に対しての注意喚起を行うことで、インフルエンザ・コロナ等の感染無く過ごすことが出来た。</p> <p>① 一処置一手洗いの徹底を促すため、手洗い評価表</p>

<p>【給食委員会】 食事を通して、利用者の健康保持と生活の楽しみを提供できる活動に努めた。</p> <p>【広報委員会】 広報紙を発刊し、施設活動の啓発と理解に努めた。</p> <p>【研修委員会】 施設内研修を計画し実施した。</p> <p>【事故防止委員会】 介護事故の予防・減災に努めた。</p> <p>【接遇委員会】 施設にかかわるすべての人が心地よく過ごせるように、言葉遣い・態度について見直しをおこなった。</p>	<p>を作成して各グループごとにチェックを行い、委員が中心となり注意喚起を行った。また、健康状態把握のため、毎日の検温・健康チェックを行った。</p> <p>② 昨年より流行しているコロナに対し、全国・地方の情報をチェックし、状況に応じた対応を行った。</p> <p>① 行事食のメニューは、食べたい物を聞き取り、メニューに反映することで、利用者の満足を得られるように努めた。</p> <p>② 毎月、体重・体調・嗜好の変化に伴い、個々の食事形態の検討を行った。また、高リスク者に対しては、個々の問題点を抽出して対応に努めた。</p> <p>① 契約者・地域・関係機関等を対象に、利用者の生活の様子を主な内容として年6回の広報紙を発刊し、施設の活動内容の理解促進に努めた。</p> <p>① 介護サービス技術の基礎力と応用力の向上を目指して年11回の内部学習会を実施し、延べ382名の参加があった（平均参加人数34.7名、80.0%）。昨年度より参加率が向上し、内容を共有して学習することが出来、意識の統一が図りやすくなった。今年度に導入した介護記録ソフトを使用し、科学的根拠を保ちながら、いかに効果的に実践していくかが、今後の学習課題となった。</p> <p>① 介護事故再発防止のため、報告された事例に関しては集計して各グループで事故の傾向を分析し、具体的に対策を委員会の中で検討した。移乗時における事故が減少傾向となっているが、利用者の自立動作中における事故が多発しており、今後どのように予防していくかが課題となった。</p> <p>② 事故原因を分析するため、利用者のADLの介助量等を詳しく記載するようにした結果、事故の原因を特定しやすくなっており、対策も具体的に実施できるようになった。</p> <p>① 「いいこと探し」で他者の言動から自己を振り返る機会を作った。</p> <p>② アンケートをもとに自己評価表を作成し、自己評価と同時に他者評価も行った。</p> <p>③ 月間目標を掲示し、接遇態度の意識付けを行った。</p>
---	--

<p>【褥瘡委員会】 褥瘡が発生しないよう重点的に取り組んだ。</p>	<p>① 褥瘡予防のために、入所時、安静度・自立度の変更時、褥瘡発生時には褥瘡ケア計画書を立案、見直しを行った。</p> <p>② 褥瘡リスクに応じて、マット変更、クッションの使用、ポジショニングを検討し、褥瘡の悪化防止に努めた。</p>
<p>【排泄委員会】 専門職と連携し、排泄動作の自立と、安全で気持ちのよい排泄を目指した。</p>	<p>① 排泄に介護を要する原因等について分析し、専門職の意見をもとに排泄にかかる要介護状態を軽減できるか検討した。その結果、改善の見込みが有る場合は、利用者の同意を得た上で排泄支援計画を立案し、それに基づき排泄支援を行った。</p>
<p>【看取り委員会】 利用者やご家族の思いに寄り添い、命に向き合い、最期までその人らしい暮らしを支えられるよう努めた。</p>	<p>① 利用者が最期までその人らしく過ごせるように、医師、家族、多職種での看取り介護カンファレンスを行い、病状説明すると共に家族には作成した看取りについての冊子を渡し、情報を共有したうえで、利用者本人の意思ならびに家族の意向を尊重しながら看取り介護を行うことが出来た。</p> <p>(看取りの実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看取り対応利用者11名(解除者1名) ・年1回の看取り委員会による学習会 日 時：令和2年8月7日 テーマ：終末期ケア
<p>【喀痰吸引委員会】 喀痰吸引を安全に実施できるように努めた。</p>	<p>① 吸引必要者のピックアップを行い、家族に吸引の同意をもらい、一覧表を作成して吸引必要者の把握を行った。</p> <p>② 必要に応じてマニュアルの見直しを行った。</p>
<p>【身体拘束防止委員会】 身体拘束の弊害を理解し、利用者の尊厳と安全が確保出来るよう努めた。</p>	<p>① 身体拘束(ミトン拘束)をしている利用者は1名おられ、身体拘束委員会にて状況を確認しながらミトン拘束時間を少しでも短くなるように取り組んだ。</p>

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所
デイサービスセンター
グループホーム

ふたばの森

特別養護老人ホームふたばの森

1. 事務

総合目標及び課題

開かれた施設経営を行うとともに利用者ニーズと地域貢献に応えられるように努めた。また、それぞれの各事業所、職種間で連携が取れるように図った。

重点目標及び課題	成果等
(1) 予算執行について	① 予算に基づき、優先順位の高いものより執行した。 また、感染症緊急包括支援事業費補助金を活用して感染対策を実施した。
(2) 新居浜市介護支援ボランティアの受入れについて	新型コロナの感染が広がったため一年をとおして受け入れることが出来なかった。
(3) 地域貢献への取り組みと柔軟な対応について	① 移動販売を定期的で開催していたが、新型コロナの影響でほぼ開催することが出来なかった。また、6月から「常設移動販売」を設置し、感染対策のうえ可能な限り地域の方、利用者にご利用いただいた。
(4) 防災、非常事態への取り組みについて	① 新居浜市福祉避難所として、行政より非常時対応の機器等の整備が行われた。 ② 自治会との協定で保管している物品の在庫確認を実施した。 ③ 災害時・感染予防の周知に、SNSを活用し情報共有を行った。

2. 生活相談員

総合目標及び課題

施設理念に沿って利用者の満足と安心した生活に繋がるよう他職種と連携して、個々に応じたサービスの提供に努めた。また、契約者と連絡を密に行い施設サービスの理解と関係作りに努めた。

重点目標及び課題	成果等
(1) 稼働率について	年間平均稼働率は95.7%となった。入所待機者を常時調整・確保し、空床が発生すると同時に新規入所者の利用調整を行うが、入退所11件におい

<p>(2) 利用相談等の調整・対応について</p>	<p>て空床115日、平均10.4日間での新規利用者の入所契約となった(115日のうち10日間は入所前の空床ショートステイ利用として受入することができた)。また、入院時の空床ベッドをショート利用に繋がる調整については、空床344日に対してショート利用9日、空床利用率2.6%にとどまった。</p> <p>契約者に対して利用者の服薬変更・事故発生時は、速やかに連絡するように努めた。感染予防のため、家族の面会が少なかったので、利用者の様子が変わったときや近況などを随時連絡するように努めた。また、契約者へ利用者の様子が分かるよう写真付きの手紙を不定期であるが発信し、特に遠方の家族等が利用者の様子が分かるよう支援に努めた。</p>
----------------------------	--

3.介護

総合目標及び課題

一人ひとりの要望に応えるとともにケアプランに個々の要望や、家族の要望を反映させながら安全で安心した生活が過ごせるような援助をした。また、医務や心療内科医と連携を取りながら認知症状の改善に努めた。

<さくらユニット>

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 個別ケアの充実</p>	<p>① 個々にあったサービスを提供したが、利用者や家族の要望によりマッサージの継続や外泊等を目標にした事例では、新型コロナ感染対策のため実施出来なかった。</p> <p>② 医務と相談しながら緩下剤の調整や(イージーファイバー) 乳酸菌等を摂って貰い、出来るだけ自然排便となるよう取り組んだ。</p> <p>③ 利用者の要望に対応出来るよう他職種協働のもと取り組んだが、外出など実施出来ないことが多く、利用者の方に満足いただくことが出来なかった。</p>

<p>(2) 統一したサービス支援の提供</p>	<p>新しい取り組みを行う時は、まず各ユニット内で相談して方向性を確認し、他のユニット、他職種にも情報の共有を図って同じ対応ができる様取り組み、意識統一を図った。</p>																																		
<p>(3) 接遇の共通認識</p>	<p>① 利用者と同じ目線で接し、不快感を与えないように取り組むことが出来た。 ② 挨拶は、元気で明るい笑顔で接した。ユニットで毎月接遇目標を掲げ、ユニット会にて実施出来たかどうか話し合うようにした。</p>																																		
<p>(4) 年間諸行事</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>行事</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>菖蒲、紫陽花見物</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>七夕飾り</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>スイカ割り</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">9</td> <td>ちびっ子ワールド</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>芋炊き</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">11</td> <td>紅葉見物・外食</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>森の発表会</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>クリスマスツリー飾り付け</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>拝賀式</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>節分・賀寿の祝い</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>花見 コロナ対策のため</td> <td>森の敷地内にて写真撮影。</td> </tr> </tbody> </table>	月	行事	実施日	6	菖蒲、紫陽花見物	中止	7	七夕飾り	1	8	スイカ割り	中止	9	ちびっ子ワールド	〃	芋炊き	〃	11	紅葉見物・外食	〃	森の発表会	7	12	クリスマスツリー飾り付け	10	1	拝賀式	中止	2	節分・賀寿の祝い	〃	3	花見 コロナ対策のため	森の敷地内にて写真撮影。
月	行事	実施日																																	
6	菖蒲、紫陽花見物	中止																																	
7	七夕飾り	1																																	
8	スイカ割り	中止																																	
9	ちびっ子ワールド	〃																																	
	芋炊き	〃																																	
11	紅葉見物・外食	〃																																	
	森の発表会	7																																	
12	クリスマスツリー飾り付け	10																																	
1	拝賀式	中止																																	
2	節分・賀寿の祝い	〃																																	
3	花見 コロナ対策のため	森の敷地内にて写真撮影。																																	

<ふじユニット>

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 個別ケアの充実</p>	<p>① 個人の要望を聞きながら、ユニットの職員が中心になり、出来るだけ早く個別ニーズに対応するように努めた。しかし、外食や外出などの要望については、新型コロナ感染対策の為、あまり実施出来なかった。 ② 好みの飲み物を提供し、トイレ誘導時の立位保持により腹圧をかけてもらったり、個別に食物繊維（バナナ、みかん、イージーファイバー等）を摂ってもらい、自然排便を促せるよう利用者の状態を細かく観察することが出来た。 ③ 入所者や家族の要望で、業者に依頼しての週1回マッサージは、あまり実施出来なかった。</p>

<p>(2) 統一したサービス支援の提供</p>	<p>① 新しい取り組みを行う時は、まず各ユニット内で相談して方向性を確認し、他のユニット職員や他職種職員（相談員、看護職員、栄養士）とも情報の共有を図り、取り組むことが出来た。</p>																																					
<p>(3) 接遇の共通認識</p>	<p>① 元気に笑顔で挨拶を行った。 ② 感謝の気持ちを忘れないようにした。 ③ 接遇委員会と相談しながら毎月のユニット会で接遇目標を決めて評価もユニット会で話し合う事にした。</p>																																					
<p>(4) 年間諸行事</p>	<table border="1" data-bbox="667 745 1321 1373"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>行事</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>菖蒲、紫陽花見物</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>七夕飾り</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>スイカ割り</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">9</td> <td>ちびっ子ワールド</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>芋炊き</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ユニット行事（焼き肉）</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">11</td> <td>紅葉見物・外食</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>森の発表会</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>拝賀式</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>節分・賀寿の祝い</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>花見ドライブ</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>花見 コロナ対策のため</td> <td>森の敷地内にて 写真撮影。</td> </tr> </tbody> </table>	月	行事	実施日	6	菖蒲、紫陽花見物	中止	7	七夕飾り	1	8	スイカ割り	中止	9	ちびっ子ワールド	〃	芋炊き	〃	10	ユニット行事（焼き肉）	1	11	紅葉見物・外食	中止	森の発表会	7	1	拝賀式	中止	2	節分・賀寿の祝い	〃	3	花見ドライブ	30		花見 コロナ対策のため	森の敷地内にて 写真撮影。
月	行事	実施日																																				
6	菖蒲、紫陽花見物	中止																																				
7	七夕飾り	1																																				
8	スイカ割り	中止																																				
9	ちびっ子ワールド	〃																																				
	芋炊き	〃																																				
10	ユニット行事（焼き肉）	1																																				
11	紅葉見物・外食	中止																																				
	森の発表会	7																																				
1	拝賀式	中止																																				
2	節分・賀寿の祝い	〃																																				
3	花見ドライブ	30																																				
	花見 コロナ対策のため	森の敷地内にて 写真撮影。																																				

<いちようユニット>

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 個別ケアの充実</p>	<p>① 個々にケアプランを作成し、その方に合った個別ケアを行い、認知症の有無に関わらず、その人らしい生活が送れるよう援助を行うことに努めた。 ② 感染対策の為、個別及びユニット内での外出は殆ど行えなかった。外出が出来ない分、リビングに季節の花を飾ったり、外の景色が見れるようにカーテンをあけるなどし、利用者に季節の移り変わりを感じてもらえるよう工夫した。 ③ 24時間シートを活用し、個々の生活リズムの把握に努めた。</p>

<p>(2) 統一したサービス支援の提供</p>	<p>① 報告・連絡・相談を密にし、職員5名が、統一した処遇ができるように、月に1回のユニット会の他に、ユニット職員間での情報共有を行える連絡簿を活用した。</p> <p>② 他職種や他ユニット職員との情報共有を行い、統一処遇が出来る様に努めた。</p>																														
<p>(3) 接遇の共通認識</p>	<p>① 利用者の立場、気持ちになり「ありがとうございます。」の感謝の気持ちを常に持ち接した。</p> <p>② 会話や挨拶は、利用者の目線に合わせて、はっきりとわかりやすく行った。</p> <p>③ ユニットで毎月の目標を決め、利用者が安心して生活が送れる様に取り組んだ。また、月に1回のユニット会で目標に沿った対応が出来たかの話し合いを持った。</p>																														
<p>(4) 年間諸行事</p>	<table border="1" data-bbox="667 969 1319 1597"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>行事</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>菖蒲見学 ドライブ (外食)</td> <td>中止 中止</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>七夕飾り</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>元船木夏祭り</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>芋炊き 地方祭</td> <td>7 中止</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>紅葉見物</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>船木小訪問 クリスマス忘年会</td> <td>中止 中止</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>拝賀式・初詣</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>節分・賀寿の祝い</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>花見</td> <td>敷地内の桜を散歩がてら見に行く</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他、ユニット内でおやつ作りなど行った。</p>	月	行事	実施日	5	菖蒲見学 ドライブ (外食)	中止 中止	7	七夕飾り	1	8	元船木夏祭り	中止	10	芋炊き 地方祭	7 中止	11	紅葉見物	中止	12	船木小訪問 クリスマス忘年会	中止 中止	1	拝賀式・初詣	中止	2	節分・賀寿の祝い	中止	3	花見	敷地内の桜を散歩がてら見に行く
月	行事	実施日																													
5	菖蒲見学 ドライブ (外食)	中止 中止																													
7	七夕飾り	1																													
8	元船木夏祭り	中止																													
10	芋炊き 地方祭	7 中止																													
11	紅葉見物	中止																													
12	船木小訪問 クリスマス忘年会	中止 中止																													
1	拝賀式・初詣	中止																													
2	節分・賀寿の祝い	中止																													
3	花見	敷地内の桜を散歩がてら見に行く																													

4. 栄養

重点目標及び課題	成果等
(1) 栄養ケアマネジメントの実践	利用者毎に栄養ケアマネジメントを実施し、栄養状態の改善と健康増進に取り組んだ。また、他職種で協議し、経口摂取維持を最大限支援した。

<p>(2) 食事内容の充実化</p>	<p>① 個人の摂食機能に応じた安全と楽しみのある食事の提供を目指した。</p> <p>② 季節を感じ、楽しみのある行事食を提供した。</p> <p>③ 温冷配膳車の使用や調理工程に配慮し、適温の食事提供を行った。</p>																											
<p>(3) 行事食</p>	<table border="1" data-bbox="683 521 1321 969"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>内容</th> <th>料理形態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>春の行事食</td> <td>和食</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>母の日献立</td> <td>和食</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>お盆献立</td> <td>和食</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>いもたき会</td> <td>和食</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>クリスマス会・忘年会</td> <td>和食</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>お正月 (三が日昼食)</td> <td>ナリコマ (クックチル)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>賀寿のお祝い</td> <td>和食</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>お彼岸献立</td> <td>和食</td> </tr> </tbody> </table>	月	内容	料理形態	4	春の行事食	和食	5	母の日献立	和食	8	お盆献立	和食	10	いもたき会	和食	12	クリスマス会・忘年会	和食	1	お正月 (三が日昼食)	ナリコマ (クックチル)	2	賀寿のお祝い	和食	3	お彼岸献立	和食
月	内容	料理形態																										
4	春の行事食	和食																										
5	母の日献立	和食																										
8	お盆献立	和食																										
10	いもたき会	和食																										
12	クリスマス会・忘年会	和食																										
1	お正月 (三が日昼食)	ナリコマ (クックチル)																										
2	賀寿のお祝い	和食																										
3	お彼岸献立	和食																										
<p>(4) 安全で衛生的な食事サービス</p>	<p>大量調理施設衛生管理マニュアルに準じて、食中毒予防と調理室内・調理器具の衛生管理及び、体調管理と手指衛生の徹底に努めた。</p>																											

5. 医務

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 日常生活の健康管理</p>	<p>① 日々、食事摂取状況、バイタル、排泄の確認、身体状況及び介護職員からの情報を把握し、個々の健康状態の管理に努めた。</p> <p>② 個々の身体状態の異常の早期発見、早期対応に努め医療機関の受診を行った。</p>
<p>(2) 他職種との連携</p>	<p>① 介護職員と情報の共有を図り、互いに協力してより良いサービスが提供できるようにした。</p> <p>② 年2回の健康診断(4月・10月)、年1回の胸部レントゲン写真(12月)随時の採血や、食事摂取状況を把握し、各職種と連携し食事内容の変更・見直しを随時行った。</p> <p>③ 経管栄養は医師の指示のもと、事故のないよう、安全・正確に注入した。</p>

<p>(3) 薬剤・投薬の適切な管理</p>	<p>④ 全国的なコロナウイルス流行に伴い、手指衛生や環境整備を行い、感染予防対策を徹底した。</p> <p>⑤ 感染予防対策に努めた為、インフルエンザ罹患者は出なかった。</p> <p>① 定期処方・臨時処方の内容を確認し、間違いの無いようにした。</p> <p>② 臨時処方など個別に管理し、一覧表を作成することでわかりやすく整理を行った。</p> <p>③ 配薬準備時は、誤薬防止のため、看護職員・介護職員によってダブルチェックを行った。各ユニットで与薬する際には必ず2名で確認した。</p> <p>④ 夜勤者に必要な頓服薬については必要量のみ鍵付き金庫に入れて手渡し、最終残薬は、夜勤者と早出勤看護師にて確認することとした。</p>
<p>(4) 職員への医療教育</p>	<p>① 入職時、医務研修を実施した。</p> <p>② 救急対応、看取りの対応について、介護・看護共に共通認識がもてる様研修会への参加・勉強会での伝達講習を行った。</p>

6. 機能訓練指導員

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) ADLの維持・向上</p>	<p>① 個々の病歴、身体状況、ADLを把握して、リハビリ計画を立案・実施した。</p> <p>② 個々の利用者に応じて、歩行訓練・立ち上がり訓練・移乗動作などの訓練を行い、ADLの維持・向上に努めた。</p>
<p>(2) 他職種との連携</p>	<p>① 介護職員と利用者の情報共有を行い、ポジショニング指導や訓練計画の見直しを行った。</p> <p>② 内出血の起こりやすい利用者には内出血ノートを作成し、現状把握と再発防止に努めた。</p> <p>③ 管理栄養士と連携し、食事量と体重の推移を把握して訓練内容に活用した。</p>

(3) リハビリの実施	月	移乗・歩行	運動療法
	9	9 2	1 1 3
	1 0	7 2	1 0 9
	1 1	6 0	9 3
	1 2	6 8	9 9
	1	4 1	6 9
	2	5 8	9 1
	3	6 5	8 9
	計	4 5 6	6 6 3

7.委員会活動

・運営委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 各ユニット、部署との情報の共有	① 共有すべき情報を提供し、運営が円滑に進むように開催した。 ② 次月の行事について、各部署の調整を行いながら実施出来るように決定した。 ③ 前年度に引き続きマニュアルの順位付けを行い、内容の見直しを各担当者が行った。 ④ 各部署、各ユニットより課題項目を議題として解決に向けて取り組みを行った。 ⑤ 苦情、重大事故については経過報告を行い、未然に防ぐ対応策の協議を行った。 ⑥ 身体拘束の廃止に向けて、基本方針の確認や身体拘束となる具体的行為についての検討を行った。

・研修委員会

重点目標及び課題	成果等												
(1) 内部研修の実施	① 法令や運営基準に基づく必須研修を中心に、全職員対象の研修を実施した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>必須研修名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>褥瘡対策に関する研修</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>事故防止に関する研修</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>高齢者の虐待に防止に関する研修</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>感染症及び食中毒防止のための研修</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>看取りに関する研修</td> </tr> </tbody> </table>		必須研修名	①	褥瘡対策に関する研修	②	事故防止に関する研修	③	高齢者の虐待に防止に関する研修	④	感染症及び食中毒防止のための研修	⑤	看取りに関する研修
	必須研修名												
①	褥瘡対策に関する研修												
②	事故防止に関する研修												
③	高齢者の虐待に防止に関する研修												
④	感染症及び食中毒防止のための研修												
⑤	看取りに関する研修												

	② 必要に応じ職員の要望を取り入れた内部研修やその時の情勢に合った内部研修を行った。																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>研修内容</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>口腔ケア</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>感染症</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>認知症</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>身体拘束</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>褥瘡</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>コロナ対策</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>認知症</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>看取り</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ICT導入</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>事故防止</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	月	研修内容	実施日	6	口腔ケア	23	7	感染症	28	8	認知症	25	9	身体拘束	24	10	褥瘡	27	11	コロナ対策	26	12	認知症	22	1	看取り	26	2	ICT導入	19	3	事故防止
月	研修内容	実施日																															
6	口腔ケア	23																															
7	感染症	28																															
8	認知症	25																															
9	身体拘束	24																															
10	褥瘡	27																															
11	コロナ対策	26																															
12	認知症	22																															
1	看取り	26																															
2	ICT導入	19																															
3	事故防止	23																															
(2) 新任職員への研修	入職時の施設長研修を中心に、各職種に必要な基礎研修を実施した。実際の業務についてはOJTを通して、一対一での指導を行った。																																
(3) 外部研修への参加	研修開催要項が到着次第開示して希望者を募った。希望者いない場合は、指名により参加した。研修後は、情報を全職員が共有出来るように報告会を開催した。																																

・給食委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 利用者個々に合った食事の提供	多職種で話し合いを行い、利用者個々に合った形態で食事を提供できるよう努めた。
(2) 食事内容の充実化	毎月の給食委員会のほかに、利用者・職員の意見を参考にし、食事内容の充実を図った。また、季節感のある行食事の提供を実施した。

・感染対策委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 定期的な委員会と臨時委員の開催	年中を通して食中毒や感染症が流行する時期を想定して事前に委員会を開催して対応策を講じた。また、新型コロナウイルスの対応を、定期の委員会及び臨時委員会を開催し、予防に努めた。

<p>(2) マニュアルの見直し</p>	<p>マニュアル、指針を、現状に即した内容に見直した。また、内部学習会にて、ガウンテクニックについて実技演習を行った。</p>
<p>(3) 新型コロナウイルスなど感染症対策広報活動</p>	<p>① 感染情報・連絡事項をSNSを活用し、伝達した。 ② 標準予防策の徹底及び感染ステージに併せた面会制限等により、予防に努めた。また、新型コロナウイルス感染症緊急包括事業を活用し、衛生材料・予防機器等の整備を行った。</p>

・入浴委員会

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 利用者個々にあった入浴方法と本人の要望に添った入浴の取り組み</p>	<p>① 利用者の日常の生活リズムを把握し、一対一での入浴対応を行った。 ② 入浴時間や形態を本人の要望に添って入浴が出来るように行った。</p>
<p>(2) 安全な入浴支援への取り組み</p>	<p>① 入浴時の事故防止の為、足ふきマット使用して転倒予防に努めた。 ② 体調や状態の変化に応じて、随時入浴の形態の変更を行い、安全安楽な入浴支援を行った。</p>
<p>(3) プライバシーの保護</p>	<p>入浴時、プライバシーに配慮した取組を行った。 (カーテン・タオルの使用)</p>
<p>(4) 快適な入浴環境の整備</p>	<p>① 月に1回の委員会を開催し、入浴環境、設備等の見直しを行い、快適な入浴が行えるよう改善した。 ② 入浴介助後の清掃・点検を職員に改めて注意して行うよう周知し、清潔保持に努めた。月に1回の浴室内溝清掃、消毒、3ヶ月に1回のカビ取りを実施した。 ③ 介助終了後、入浴担当者によるシャンプー類等の補充を徹底し、不備のないように努めた。 ④ 毎週土曜日には、エプロンの洗濯、機械のマット外しての清掃も実施した。</p>

(5) 感染対策	感染症のある利用者の対応について、職員に周知徹底した。また 最後に入浴出来ない時は、洗浄消毒し感染予防に努めた。
(6) その他	1階の洗濯場の洗剤の補充とほこり取りを、デイサービスと共同で実施し、チェック表に記入するようにして清潔の保持に努めた。

・防災対策委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 防災訓練の実施	<p>① 災害発生時に入居者の安全確保に迅速に対応できるように、計画的に消火訓練・避難訓練を昼間想定、夜間想定で実施した。</p> <p>② 消火・避難訓練以外も、水害、震災訓練を計画的に訓練を行った。シェイクアウトえひめにも参加し、防災対策に万全を期した。訓練前に、各部署・各ユニットへの参加周知及び参加職員との事前確認を行い、円滑に訓練を行った。</p>
(2) 地域防災	地域防災合同防災訓練は、新型コロナウイルス感染予防のため、中止した。
(3) 防災活動	<p>① 日頃より、防災に関する敷地内パトロールを定期的に行い、施設内外の危険個所を把握改善、防災設備の点検整備等の防災対策を徹底した。</p> <p>② 備蓄品や避難経路図を常日頃より確認を行い、追加購入や変更が必要な場合は適時対応をした。</p>
(4) その他	新居浜警察署による安全運転講習を計画していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

・排泄委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 利用者個々にあった排泄の方法と褥瘡予防への取り組み	<p>① 利用者の日常の生活リズムを把握し、排泄、排便の観察を行い、「個別排泄」「自立支援」を目指した。必要時都度排泄介護時間の検討、布パンツ使用等の個々にあったケアを目指した。</p> <p>② 排泄介助時には皮膚観察も常に行い、褥瘡や皮膚の爛れのある方は医務との連携を取り、早期対応処置を行った。</p> <p>③ 利用者個々の排泄量に合わせ、パットの見直しを都度行い、快適に過ごせるよう努めた。</p>
(2) 感染予防	<p>トイレ誘導後、オムツ交換後に職員が感染の媒体にならないように、手洗い・アルコール消毒の実施を徹底した。</p>
(3) プライバシーの配慮	<p>相手の立場にたった介助を心掛け、プライバシーに配慮した介助に努めた。</p>
(4) 環境整備	<p>① 利用者のトイレ使用時にはいつでもトイレ内が清潔に保たれているよう、掃除を徹底した。</p> <p>② 気持ちの良い排泄をして頂けるよう排泄委員が中心となり、都度対応方法を検討した。</p>

・環境委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 敷地内外掃除の実施	<p>① 施設敷地内外と駐車場を各部署、各ユニット週ごとに交代で出勤時間内にて掃除を実施し、チェックシートにて管理した。</p> <p>② 室外の排泄物等のゴミ箱の掃除を実施した。</p> <p>③ 職員使用の靴箱、傘立ての片づけを実施した。</p> <p>④ 不要品の廃棄・処分を実施した。</p>
(2) 洗車・車内清掃	<p>定期的に行った。</p>
(3) 設備の点検	<p>各部署、各ユニットごとに施設内、敷地内の危険個所と思われる場所をアンケートし委員会にて解決策を提案した。</p>

・褥瘡委員会

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 施設内の褥瘡予防対策を効果的に推進した</p> <p>(2) 褥瘡対策委員会の開催</p>	<p>① 令和2年度の褥創者は1件だった。褥瘡癒痕からの再発であった。その後は、再発防止に努めた。</p> <p>② 褥瘡発生には至らなかったが、皮膚トラブルの発生者が4名あった。その都度、病院受診し早期対応に努めた。</p> <p>褥瘡対策委員会は、1ヶ月に1回（定例開催以外にも必要に応じて随時）開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡及び合併する感染症の予防体制の確立 ・褥瘡予防に関する情報の収集（身体状況、皮膚状態、栄養状態等の把握） ・施設内であった褥瘡事例の対応策 ・褥瘡予防の為にマニュアル類の整備 ・職員を対象とした褥瘡予防に関する研修の実施 ・その他、当施設内の褥瘡予防の為に必要な事項定期健康診断・ブレードスケールを活用し、褥瘡ハイリスク者計画を随時立案・修正行った。 ・年に2回利用者の血液検査を実施し褥瘡リスクの確認を行った。

・看取り委員会

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 当たり前のあるがままの生活、我が家のような生活に沿い、安らかな最後を迎える為の様々なサービスの充実を図る事を目的とした</p> <p>(3) 看取り介護委員会の開催</p>	<p>3名の看取り対象者がいたが、家族に満足してもらえる看取り介護を行えた。コロナ禍ではあったが感染予防対策に努め、出来得る限り家族に傍に居ていただけた。また、家族との連絡相談を密にし、できる限り本人、家族が望むサービスを実施した。</p> <p>食事摂取が難しい状態であっても、本人に食べたい意思があり、家族が同意した場合は、嗜好品を無理しない程度に形状を工夫して、看護師、家族立ち合いのもと提供した。</p> <p>看取り介護委員会を、必要に応じ随時開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各職種の役割 ・看取り時の介護体制 ・看取り介護に携わる者の体制及び記録等の整備 <p>1 医師の指示書</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 2 看取り介護同意書 3 看取りカンファレンスの開催 4 看取り介護計画書「変更、追加」 5 経過観察記録 6 臨終時の記録 7 看取り介護終了後のカンファレンス会議録
(4) 看取りに関する職員教育	<p>看取り介護の目的を明確にし、死生観教育と理解の確立を図った。</p>
(5) 施設内研修会、勉強会の開催、外部研修会への積極的参加	<ul style="list-style-type: none"> ① 1月に看取り研修を実施した。 現在の看取りと考え方をDVD及び資料を使用して伝達した。 ② 新任者に対する看取り介護の教育、研修を実施した。 ③ その他必要な教育、研修があれば参加した。看取り観覧研修への参加、勉強会を通し、職員への看取りに関する知識の共有を行った。

・運営推進委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 施設運営の理解と透明性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設サービスの内容を理解した。 ② 施設生活や生活支援を実際に理解した。 ③ 「利用者や家族のニーズ」を理解した。
(2) 地域とのネットワーク作り	<ul style="list-style-type: none"> ① 運営推進会議を通して施設の地域とのかかわりを深めた。 ② 地域住民との意見交換の場にした。 ③ 地域や地域住民が持つ「力」や「ニーズ」を把握する場にした。
(3) 施設における施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ① 相談・連携等がスムーズに行えるように地域の窓口となった。 ② 行政職員が持っている制度・地域状況・各種資源などの情報を提供した。 ③ 地域住民や行政職員も交えながら、利用者家族や地域住民のニーズを吸い上げ、新たなサービスのあり方を検討または実施した。

・ 接遇委員会

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 職員へのアンケート実施</p> <p>(2) 言葉遣いと身だしなみについて</p>	<p>職員へ接遇の基本の6要素のアンケート実施。その結果を職員に周知し反省すべき事は、協議しその結果を今後活かすように努めた。</p> <p>接遇委員会の中で職員の利用者に対する言葉遣いについて協議した。丁寧な言葉遣いと共に、利用者が親しみを感じやすい方言を交えるなど、職員が色々と工夫して声掛けを行っていくことも必要であると協議した。</p> <p>職員の身だしなみについて20代の職員を中心に協議を行った。頭髪の長さ、色などに明確な基準は設けなかったが、「頭髪が長く介助に支障がある場合は後ろで束ねる」「頭髪の色は明る過ぎる色は避ける」「アクセサリ類は勤務中は必ず外す。清潔感のある落ち着いた服装をする」等々、身だしなみの基本的なマナーについての見直しを行った。</p>

・ 認知症委員会

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 認知症に対する理解と対応について</p> <p>(2) 嘱託医（心療内科医）との連携</p> <p>(3) 認知症委員会の構成</p>	<p>① 毎月1回、認知症のある方の現状を理解しながら対応方法を多職種で検討した結果、色々な関わり方など話し合うことができた。改善できない時は、その都度医務や相談員に相談しながら対応を実施した。</p> <p>② 水、排泄、緩下剤の調整を取り組み、他職種で話し合い、認知症の方が落ち着いた生活を送れる様に協議を行った。コロナ感染予防の為、家族との直接の面会は出来ないが、ガラス越しや携帯電話などを使い、出来るだけ家族とのコミュニケーションがとれるよう努めた。</p> <p>各ユニットで問題行動のある認知症の方への治療を、医務と心療内科医と連携して改善し、服薬調整を行った。</p> <p>看護、介護、ショートステイなど他職種で関わり情報が共有出来る様委員会で協議した。</p>

・広報委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) ホームページの活用	ブログ活用し情報発信する予定であったが、有効活用することができなかった。
(2) 広報誌の発行	2ヶ月に1回の広報誌発行により、入居者やサービス利用者の生き生きとした姿を紹介することで家族や地域の方々に施設のアピールをすることができた。
(3) 地域住民への働きかけ	感染拡大予防のため、地域住民の方との交流を図ることが出来なかった。

・口腔ケア委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 口腔ケアの充実	<p>① 月2回以上の歯科医師と歯科衛生士による専門的口腔ケアの実施を通じて、口腔ケアに関する知識と意識を高め、統一した口腔ケアの実施に取り組んだ。歯科医師の回診後に指導内容を聞き、各ユニットへ書面にて配布し、ユニットへ伝達を行った。</p> <p>② 月2回以上の歯科医師と歯科衛生士による専門的口腔ケアの実施を通じて、治療が必要な利用者に関して、本人や家族の意向を確認しつつ対処が行えた。また、介護職員から発信される利用者の口腔内の問題点を歯科医師、歯科衛生士へ連絡し、治療や問題点の解決に繋げることができた。</p> <p>③ 口腔状態に応じたケアと用具の選定により、より効果的に実施することができた。</p>
(2) 学習会の実施	① 年1回、勉強会を通して職員全体に口腔ケアの必要性和重要性を周知を行った。

・安全対策委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 事故報告	<p>新居浜市役所・・・5件 東予地方局・・・1件 (内訳)</p> <p>転倒・・・2件 転落・・・1件 誤訳・・・1件 介助中の怪我・・・1件</p>

<p>(2) 服薬方法見直しについて</p>	<p>薬袋に書いている日付・時間とは違う別の薬袋の物を服薬し誤薬事故が起こった。緊急事故防止委員会を行い改善策を協議した。</p> <p>① 名前、日付、時間、薬の種類と数が目に見えてわかるように、薬袋の大きさを変更した。</p> <p>② 薬の仕分けは看護職員が2重チェックを行い、人手が足りないときは他職種に協力してもらった。</p> <p>③ 服薬前は必ず2名介助で行うように徹底した。</p>
------------------------	--

8. 職員研修参加状況（ふたばの森）

月	日	内容	場所	出席者
5	28～	喀痰吸引講習会	西条	介護職員 1名
7	8～	喀痰吸引講習会	西条	介護職員 1名
8	12	特定給食施設等関係者研修会	西条	管理栄養士 1名
9	18	外国人労働者雇用セミナー	市内	施設長
	25	新型コロナウイルス感染症と感染予防対策	松山	看護職員 1名
10	6	新型コロナ、季節性インフルエンザ・ノロウイルス感染予防基本手技を再確認しよう	松山	看護職員 1名
11	11	市社協スキルアップ研修(感染症に関する講義・実技)	市内	看護職員 1名、介護職員 1名 管理栄養士 1名
	13	県老協協東予老協協共催開催「新型コロナウイルス対策実技研修」	市内	看護職員 1名
1	19～	ユニットリーダー研修	オンライン	介護職員 1名
3	9～15	パーキンソン病の理解WEBセミナー	オンライン	介護職員 4名

9. 事業実施状況

月	保健衛生	施設管理	地域交流スペース利用状況
4	/6~26 職員健康診断(47名) /8 ストレスチェック /25 利用者健康診断採血(26名) /25 栄養士検便(1名)+調理員(4名)	/5 受水槽清掃 /6 EV定期点検 /24 浄化槽放流ポンプ取替 /24 カーテン業者交換、取り替え /26 全館ワックス	/26 入居判定委員会 各自治会役員会 フラダンス練習 車椅子清掃ボランティア 特定建築物定期調査 新型コロナウイルス対策として全て中止
5	/14~23 入居者健康診断(27名) /28 栄養士検便(1名)+調理員(4名)	/2 全館ワックス /4 車椅子体重計修繕 /5 カーテン業者納品 /6 EV定期点検 /6 EV定期点検	/20 運営推進会議(書面審査) /23 内部学習会「口腔ケア」;松田歯科(34名) /30~ 全館LED化工事 /2 元氣もりもり教室角野開校 /28 内部学習会「食中毒防止」;「感染対策」; ;研修担当者(33名) /27 運営推進会議19:00~ /24 入居判定委員会 /25 内部学習会「認知症」パーソナル・ソング(37名)
6	/8 コキアリ駆除19:30~20:30 /27 栄養士検便(1名)+調理員(4名)	/6 EV定期点検 /6 EV定期点検	/24 常設移動販売設置 /10 荷物用EV点検 /6/13/20/27スマートフォンポ移動販売ふたば屋
7	/25 栄養士検便(1名)+調理員(4名)	/6 EV定期点検	
8	/24 栄養士検便(1名)+調理員(4名) /18~ 職員健康診断(23名)	/3 いちようエント大型テレビ更新 /6 台風直前水防訓練 /9 荷物用EV点検 /18 消防設備点検 /28 避難訓練 /29 浄化槽点検 /26 避難訓練 /6 EV定期点検 /4 電気設備年次点検	/6 EV定期点検 /29 非常用発電機定期点検 /19 インフルエンザ予防接種(入所者23名)
9	/5~24 職員健康診断(23名) /9 利用者健康診断採血(22名) /19 インフルエンザ予防接種(職員43名) /31 入居者健康診断(22名) /24 栄養士検便(1名)+調理員(4名) /8 インフルエンザ予防接種(入居者25名) /27 栄養士検便(1名)+調理員(4名) 栄養士ノロ検査(1名)+調理員(4名)	/3 汚水排水ポンプ交換 /3 電気設備点検 /6 EV定期点検 /19 平成11年登録ハイエース廃車	/7 森の発表会(船木中学校吹奏部);屋外にて 地域住民他75名 利用者41名 入所者29名 ショート、バンドサイドテーブル9台導入 (感染症支援金) /20 森の発表会(船木中学校吹奏部);屋外にて 地域住民他75名 利用者41名 入所者29名 ショート、バンドサイドテーブル9台導入 (感染症支援金)
10	/9 入居者レントゲン撮影(28名) /24 栄養士検便(1名)+調理員(4名) /24 栄養士ノロ検査(1名)+調理員(4名)	/9 荷物用EV定期点検 /12 県シイイクアプト(震災)訓練 /4 EV定期点検 /6 EV定期点検	/7 森の発表会(船木中学校吹奏部);屋外にて 地域住民他75名 利用者41名 入所者29名 ショート、バンドサイドテーブル9台導入 (感染症支援金) /20 森の発表会(船木中学校吹奏部);屋外にて 地域住民他75名 利用者41名 入所者29名 ショート、バンドサイドテーブル9台導入 (感染症支援金)
11	/26 栄養士検便(1名)+調理員(4名) /26 栄養士ノロ検査(1名)+調理員(4名)	/6 EV定期点検	/19 特養、多機能型加湿装置2台設置(感染症支援金) デイ、多機能型加湿装置1台設置(感染症支援金)
12	/25 栄養士検便(1名)+調理員(4名) /25 栄養士ノロ検査(1名)+調理員(4名)	/6 EV定期点検 /6 次亜塩素酸水発生装置修繕 /8 冷温配膳車修理 /8 もみじヒジメXJONPHS更新 /6 EV定期点検 /10 荷物用EV点検 /23 総合避難訓練	/19 特養、多機能型加湿装置2台設置(感染症支援金) デイ、多機能型加湿装置1台設置(感染症支援金)
1	/25 栄養士検便(1名)+調理員(4名) /25 栄養士ノロ検査(1名)+調理員(4名)	/6 EV定期点検 /6 次亜塩素酸水発生装置修繕 /8 冷温配膳車修理 /8 もみじヒジメXJONPHS更新 /6 EV定期点検 /10 荷物用EV点検 /23 総合避難訓練	/1~4 新型コロナウイルス後方支援、四国中央市 萬翠荘 田村鉄郎リナー介護職員派遣 /10 ふじ・いちようエント キッチン 電気温水器更新 /17 デイ 飛沫防止パーテーション16組設置(感染症支援金) 消防署査察 /5 消防設備点検 /18 非常用発電機定期点検 /29 運営推進会議(書面審査)
2	/25 栄養士検便(1名)+調理員(4名) /25 栄養士ノロ検査(1名)+調理員(4名)	/6 EV定期点検 /6 次亜塩素酸水発生装置修繕 /8 冷温配膳車修理 /8 もみじヒジメXJONPHS更新 /6 EV定期点検 /10 荷物用EV点検 /23 総合避難訓練	/1~4 新型コロナウイルス後方支援、四国中央市 萬翠荘 田村鉄郎リナー介護職員派遣 /10 ふじ・いちようエント キッチン 電気温水器更新 /17 デイ 飛沫防止パーテーション16組設置(感染症支援金) 消防署査察 /5 消防設備点検 /18 非常用発電機定期点検 /29 運営推進会議(書面審査)
3	/25 栄養士検便(1名)+調理員(4名) /25 栄養士ノロ検査(1名)+調理員(4名)	/6 EV定期点検 /6 次亜塩素酸水発生装置修繕 /8 冷温配膳車修理 /8 もみじヒジメXJONPHS更新 /6 EV定期点検 /10 荷物用EV点検 /23 総合避難訓練	/1~4 新型コロナウイルス後方支援、四国中央市 萬翠荘 田村鉄郎リナー介護職員派遣 /10 ふじ・いちようエント キッチン 電気温水器更新 /17 デイ 飛沫防止パーテーション16組設置(感染症支援金) 消防署査察 /5 消防設備点検 /18 非常用発電機定期点検 /29 運営推進会議(書面審査)

10.特養利用者の概要

(1)利用者の状況

令和3年年3月31日現在

在所期間の状況

期 間	男	女	計	比率(%)
5年以上～10年未満	1	3	4	14%
3年以上～5年未満	2	6	8	28%
1年以上～3年未満	4	3	7	24%
1年未満	4	6	10	34%
合 計	11	18	29	100%

年齢構成

区分	65歳未満	65～74	75～79	80～84	85～89	90～100	101～	平均
男	0	1	2	2	3	2	0	84.1
女	0	1	1	3	3	11	0	89.1
合計	0	2	3	5	6	13	0	87.9

①平均年齢は約87.9歳となっている。

②最高齢者は、男性96歳、女性99歳で、最も若い利用者は、男性73歳、女性73歳である。

要介護度の状況 (R3年3月)

[要介護度]

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均
男 性	0	0	4	0	3	7	3.86
女 性	0	0	4	8	10	22	4.27
合 計	0	0	8	8	13	29	4.17
前年度実績	0	0	5	16	7	28	4.07

(2)入退所状況

利用者状況

[月別新規入所者]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
女	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2	6
計	1	2	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	10

退所者状況

〔月別退所者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
女	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	1	2	8
計	1	1	0	1	0	0	2	1	0	1	1	2	10

10名の方が退所となり、その内死亡による退所は8人となっている。

(3) 日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

日常生活自立度（寝たきり度）

〔利用者29名〕

ランク J 生活自立	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。	
	1 交通機関等を利用して外出する。	0
ランク A 準寝たきり	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。	
	1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。	7
ランク B 寝たきり	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。	
	1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。	4
ランク C 寝たきり	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。	
	1 自力で寝返りをうつ。	3
	2 自力では寝返りもうたない。	2

認知症老人の日常生活自立度判定

〔利用者29名〕

項目	痴 呆 の 程 度	
正 常	認知症の症状無し	1
ランク I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	2
ランク II	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。	
	a 家庭外で上記 II の状態が見られる。	0
	b 家庭内でも上記 II の状態が見られる。	6

ランクⅢ	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	
	a 日中を中心として、上記Ⅲの状態が見られる。	11
	b 夜間を中心として、上記Ⅲの状態が見られる。	5
ランクⅣ	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。	3
ランクⅤ	著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	1

(5)利用者医療状況

疾病状況

順	疾病名	人数	順	疾病名	人数
1	便秘症	3	35	脳血管性認知症	1
2	高血圧症	13	36	狭心症	2
3	脳梗塞後遺症	6	37	アルコール性認知症	2
4	老人性認知症	0	38	アルコール性精神病	0
5	糖尿病	7	39	高脂血症	2
6	骨粗鬆症	4	40	股関節変形症	0
7	アルツハイマー型認知症	14	41	統合失調症	0
8	胸椎・腰椎圧迫骨折	0	42	C型肝炎	1
9	大腿骨頸部骨折	0	43	ペースメーカー	1
10	レビー小体型認知症	0	44	不定愁訴	0
11	心不全	4	45	僧帽弁閉鎖不全	0
12	パーキンソン病	3	46	関節リウマチ	1
13	心筋梗塞	1	47	高度難聴	0
14	変形性膝関節症	4	48	両変形性股関節症	3
15	尿路感染症	3	49	前頭側頭葉変性症	0
16	腰痛症	0	50	洞不全症候群	0
17	胃瘻増設	1	51	腰部脊柱管狭窄症	1
18	心経因性膀胱	0	52		
19	肺炎	3	53		
20	慢性腎不全	2	54		
21	変形性脊椎症	0	55		
22	呼吸不全	0	56		
23	脳出血後遺症	1	57		
24	白内障	4	58		
25	うつ病	0	59		
26	心房細動	0	60		
27	前立腺肥大	1	61		
28	症候性てんかん	1	62		
29	頸椎損傷	0	63		
30	硬膜下血腫	2	64		

3. つなぎ服拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. ミトン型手袋による拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

今年も身体拘束ゼロについては、施設全体で取り組んでおり、身体拘束防止委員会を設置し、利用者の身体拘束を個別に検討し、福祉用具の導入や現在行われている介護を見直し、よりよいケアの実現を目指すよう努力している。委員会メンバーは・施設長・生活相談員・看護職員・栄養・グループ職員からの構成になっている。

尚、運営基準で利用者の生命又は身体を保護するため、緊急やむを得ない場合を除き、行動を制限する行為を行ってはならないと規定されており、身体拘束などを行う場合には、その対応及び時間、利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録しなければならない。また、その際は、利用者本人や家族に対して詳細な説明と十分な理解を得る必要がある。現在身体拘束は実施していない。

(7) ユニットケア実施状況

実施日	行事内容	場 所	グループ別 参加利用者数				計
			さくら	ふじ	いちょう	もみじ	
5/30	霧の森遠足	霧の森 (新宮)	0	0	3	0	3
6/10	紫陽花見物	池田池	7	4	0	0	11
8/3	スイカ割り	施設内	2	1	3	15	21
8/5	元船木夏祭り	近隣グラウンド	4	5	4	7	20
11/1	紅葉見物	マイントピア別子	0	7	7	2	16
12/19	クリスマス忘年会	施設内	10	9	10	13	42
1/4	初詣	施設内	1	1	0	2	4
合 計			24	27	27	39	117

個別ケア 実施状況

《さくらユニット》

(入浴実施状況： 2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
仰臥位入浴	35	62	44	53	44	36	48	36	40	41	51	42	532
座位入浴	28	32	18	22	16	20	26	26	22	22	20	15	267
自立補助入浴	14	18	10	12	8	8	10	8	8	8	17	17	138
清拭	2								2				4
シャワー浴	1	8	8	9	9	8	10	8	8	8	10	9	96
合計	80	120	80	96	77	72	94	78	80	79	98	83	1,037

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
外出、買い物、外食													0
美容、理容			10	2	8	3	9	3	9	6		4	54
季節行事・レクレーション				7								7	14
お誕生会	2			1	1				2		1	2	9
合計	2	0	10	10	9	3	9	5	9	6	1	13	77

《ふじユニット》

(入浴実施状況：2回/週)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	27	21	22	18	18	23	33	16	23	29	19	20	269
座位入浴	26	33	27	32	35	34	40	41	39	45	43	56	451
自立補助入浴	22	22	22	16	14	14	17	4	7	13	8	5	164
清拭						1		2					3
シャワー浴													0
合計	75	76	71	66	67	72	90	63	69	87	70	81	887

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
外出、買い物、外食												4	4
美容、理容		1	8	4	5	8	5	7	4	8	4	6	60
季節行事	9						8	4	8	9		7	45
お誕生会							1	2	2				5
合計	9	1	8	4	5	8	14	13	14	17	4	17	114

《いちろうユニット》

(入浴実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
仰臥位入浴	32	25	25	24	30	24	20	27	26	20	19	19	291
座位入浴	29	28	31	32	38	30	22	39	33	38	32	32	384
自立補助入浴	30	22	22	24	30	25	20	20	19	20	14	25	271
清拭	6	0	0	0	1	2	4	0	1	0	6	0	20
シャワー浴	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	99	75	78	80	100	80	66	86	79	78	71	76	969

(行事・レク実施状況)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
美容・理容など			10	6	8		4	7	7	7	4	6	59
外出・外食・買い物				1		1		1			4		7
季節行事				10				7	9			7	33
お誕生会		3		1	2	1						2	9
合計	0	3	10	18	10	2	4	15	16	7	8	15	108

給食栄養状況

栄養ケアマネジメントの実施により、一人ひとりの栄養ケアプランが十分に実施されるよう、他職種協働で取り組みを行い、利用者の個別性に対応している。

栄養ケアマネジメント

月	ケアマネジメント実施数 (人)	低 リスク	中 リスク	高 リスク	リスク 未定	合 計
4月	29	13	11	5	0	29
5月	29	12	13	4	0	29
6月	29	10	15	4	0	29
7月	29	11	13	5	0	29
8月	29	12	12	5	0	29
9月	29	11	13	5	0	29
10月	29	13	11	5	0	29
11月	29	17	8	4	0	29
12月	29	18	7	4	0	29
1月	29	18	8	3	0	29
2月	29	19	6	4	0	29
3月	29	18	7	4	0	29
合 計	348	172	124	52	0	
月平均	29.0	14.3	10.3	4.3	0.0	

栄養ケアマネジメントによる一人ひとりへの細かいプランを立て実施している。低栄養改善への早期アプローチにて、健康増進に繋げている。

食事の状況

	主 食					副 食				
	普通	握食	粥食	ミキサー	経管	普通	刻食	ミキサー	ソフト	経管
居 室	0	0	1	0	1	0	0	2	1	1
食 堂	14	5	7	1	0	17	0	1	7	0
合 計	14	5	8	1	1	17	0	3	8	1

行事食の献立状況

月 日	行 事 名	献 立
4/3	春の行事食	筍御飯・鯛の煮付け・かき揚げ・かきたま汁・フルーツポンチ
5/5	こどもの日	オムライス(ケチャップソース)・エビフライ(タルタルソース)・コンソメスープ・手作りメロンゼリー
5/12	母の日	豆御飯・さわらの照り焼き・小松菜のごま和え・茶碗蒸し・ミニ筑前煮・生果物
7/7	七夕	稲荷寿司・七夕ソーメン・大根と豚肉の煮物・マンゴー缶
7/21	土用の丑の日	うな井・高野豆腐のサイコロ煮・味噌汁(もやし・しいたけ)・胡瓜の浅漬け風
8/13	お盆	夏の炊き込み御飯・天ぷら盛り合わせ・トマトときゅうりのマリネ・えのきのすまし汁・メロン
9/21	敬老の日	松茸御飯・赤魚の照り煮・なすの揚げ浸し・白菜のレモン風味・茶碗蒸し(鶏肉・ぎんなん)
10/7	いもたき会	いもたき・ちらし寿司・ほうれん草の白和え・梨
12/29	クリスマス・忘年会	たこ飯・白身魚のかぶら蒸し・大根と厚揚げの煮物・小松菜とえのきのお浸し・味噌汁(さつまいも・玉ねぎ)・ヨーグルト(いちご乗せ)
12/31	大晦日(夕食)	年越しそば(えび天)・大根と豚肉の炒め物・みかん
1/1	お正月(祝い膳)	赤飯・有頭海老の旨煮・合鴨スモーク・ほたて旨煮・数の子・寿高野の煮物・伊達巻・絵馬蒲鉾・花三色・お煮(蓮根の煮、六角里芋煮、和風ふき煮、昆布巻き、くわい)・黒豆煮(クコの実)・栗きんとん(栗の甘露煮)
2/2	賀寿のお祝い	花形ちらし寿司・さわらの西京焼き・菜の花のからし和え・大根の煮物・えのきのすまし汁・さつまいもとりんごの甘煮
3/3	ひなまつり	ひし形寿司・絹揚げとふきの煮物・手作り茶碗蒸し(鶏肉・ぎんなん)・フルーツ
3/18	お彼岸	山菜おこわ・手作りがんもどき・精進筑前煮・わかめ入りかきたま汁・フルーツヨーグルト和え

ショートステイふたばの森

総合目標及び課題

利用者及びご家族が安心して在宅生活を継続できるよう、内外部との連携を取り合い支援した。

1.生活相談員

重点目標及び課題	成果等
(1) ショートステイの稼働率の維持・向上のための取り組み	年間目標平均稼働率93%に対し、年間平均稼働率83.9%であった。また、下記のとおり取り組んだ。 ① 継続的な利用をしていただけるよう、家族・ケアマネと情報を共有し、利用者本人・家族が安心して利用できるよう努めた。長期間利用がなかった方の利用の再開の際は面接等を行い、家族、ケアマネ、各部署と情報を共有し、安心した利用をしていただくことができた。 ② 緊急的な利用者の受け入れについては、入退所の時間や送迎の調整を行い対応することができた。 ③ 新規利用者の受け入れ時には、綿密な情報収集を行うと共に、説明不足によるトラブルのない様に心がけた。 ④ 施設見学や問い合わせの際は、施設の特徴などを丁寧に説明することで新規の利用につなげることができた。また、感染症流行に配慮し、施設内での見学を避け、写真や資料を活用して十分理解が得られるよう努めた。 ⑤ 利用者、家族の利用ニーズを把握することで、利用のキャンセルがあったときに空床を埋めることができた。

2.介護

重点目標及び課題	成果等
(1) 個々に合わせたケアの推進	① 利用者の生活や家族構成などを職員一人ひとりが把握できるよう情報共有に努め、個別性・専門性の高いサービス提供に努めた。
(2) 認知症ケアへの対応	① 利用者及び介護者の負担軽減、または悪化の防止に努め、心身の状況に応じたサービスの提供に努め

<p>(3) 居宅事業所との連携</p>	<p>た。</p> <p>① 四国中央市土居町の居宅事業所連携を密にし、稼働率の維持向上を目指した。</p>
<p>(4) 意識改革と資質の向上</p>	<p>① 職員の気付きや発想の転換を活かし、創意工夫できる環境を整えた。</p> <p>② サービスの質の向上を目指し教育や研修に積極的に取り組み、職員のレベルアップを図った。</p>

短期入所生活介護の利用状況

R3.3.31現在

		合計	R02.04	R02.05	R02.06	R02.07	R02.08	R02.09	R02.10	R02.11	R02.12	R03.01	R03.02	R03.03	
稼働日数		365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	
平均利用者数	計	13.4	13.5	12.9	12.9	12	12.9	13.3	13.4	13.8	13.9	14.3	14.1	14.2	
	男	2.2	2	1.5	2	2	2.4	2.5	2.5	2.4	2.4	2.2	2.3	2	
	女	11.3	11.5	11.4	10.9	10	10.6	10.8	10.9	11.5	11.5	12.1	11.8	12.2	
利用延べ人数	計	4903	405	399	388	372	401	399	415	415	431	443	395	440	
	男	796	60	46	61	61	73	76	78	71	74	69	65	62	
	女	4107	345	353	327	311	328	323	337	344	357	374	330	378	
介護度別															
平均要介護	計	3.3	3	3.1	3.1	3.2	3.3	3.5	3.6	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3	
	男	3.4	3.3	3.4	3.4	3.3	3.5	3.6	3.6	3.3	3.3	3.2	3.3	3.1	
	女	3.3	3	3	3.1	3.2	3.2	3.4	3.6	3.5	3.6	3.4	3.5	3.3	
要介護1	計	562	53	53	46	50	54	43	50	60	53	36	38	32	47
	男	46	5			2	6	5	3	10	5	7	5	3	5
	女	516	53	53	46	48	48	38	47	50	29	33	29	29	42
要介護2	計	955	93	67	73	62	63	59	61	73	99	105	93	97	
	男	236	19	12	18	17	17	16	20	20	23	25	23	26	
	女	719	74	65	55	45	46	43	41	53	76	80	70	71	
要介護3	計	1097	126	137	130	116	98	86	53	57	58	75	64	97	
	男	93	20	17	18	22	2	2	2	2	2	2	2	2	
	女	1004	106	120	112	94	96	84	51	55	56	73	62	95	
要介護4	計	938	62	60	61	60	86	97	89	81	80	86	82	94	
	男	209	6	4	6	1	28	32	30	18	22	24	23	15	
	女	729	56	56	55	59	58	65	59	63	58	62	59	79	
要介護5	計	1351	71	72	78	84	100	114	162	144	158	139	124	105	
	男	212	15	13	19	19	20	21	23	21	20	13	14	14	
	女	1139	56	59	59	65	80	93	139	123	138	126	110	91	
居住区分別															
ユニット型個室	計	18	1							6	1			10	
	男	6								6					
	女	12	1								1			10	
多床室	計	4885	404	399	388	372	401	399	415	409	430	443	395	430	
	男	790	60	46	61	61	73	76	78	65	74	69	65	62	
	女	4095	344	353	327	311	328	323	337	344	356	374	330	368	
構成比(%)															
介護度別															
要介護1		11.5	13.1	13.3	11.9	13.4	13.5	10.8	12	14.5	8.4	8.6	8.1	10.7	
要介護2		19.5	23	19.3	18.8	16.7	15.7	14.8	14.7	17.6	23	23.7	23.5	22	
要介護3		22.4	31.1	34.3	33.5	31.2	24.4	21.6	12.8	13.7	13.5	16.9	16.2	22	
要介護4		19.1	15.3	15	15.7	16.1	21.4	24.3	21.4	19.5	18.6	19.4	20.8	21.4	
要介護5		27.6	17.5	18	20.1	22.6	24.9	28.6	39	34.7	36.7	31.4	31.4	23.9	
その他															
性別															
男		16.2	14.8	11.5	15.7	16.4	18.2	19	18.8	17.1	17.2	15.6	16.5	14.1	
女		83.8	85.2	88.5	84.3	83.6	81.8	81	81.2	82.9	82.8	84.4	83.5	85.9	

デイサービスセンターふたばの森

総合目標及び課題

利用者一人ひとりの意思、人格を尊重し利用者の立場に立った指定通所介護事業及び指定介護予防通所事業を実施し、身心機能の維持向上や社会的孤立感の解消、家族の身体的、精神的負担の軽減を図り、利用者の在宅生活支援を目的とした。

1.生活相談員

重点目標及び課題	成果等
(1) 稼働率の維持・向上の 為の取り組み	<p>年間平均稼働率78.9%。昨年度を下回った。 要因としては、長期入院者で退院の目途が立たず、新規の受け入れもできなかった。また、他施設への急な入所者が出たため、新規受け入れが遅れた。 また、新型コロナウイルス感染症予防のため、利用を控える方が、若干名いた。</p> <p>① 令和2年度新規利用者27名、終了者34名であった。</p> <p>② 曜日変更や利用回数の変更等、家族や居宅支援事業所、地域のニーズに応え、利用者に異常が見られた場合は迅速に情報の提供を行った。</p> <p>③ 利用者一人ひとりのニーズ及び心身の状態を的確に把握し、地域での暮らしを支える支援を構築することに努めた。</p>

2.介護

重点目標及び課題	成果等
(1) 質の高い介護サービスの 提供	<p>新型コロナウイルス感染症予防のため、ポイントを使用しての社会資源の活用等が思うようにできなかった。</p> <p>① 食事 食事時の雰囲気気を配り、四季折々に季節感あふれる食事や、行事に伴う献立を提供した。</p> <p>② 入浴 異常に十分配慮しながら、快適かつ安全に入浴できるように援助を行い、清潔の保持・心身のリフレッシュに努めた。</p> <p>③ 排泄 利用者の尊厳に十分配慮しながら、個々のペース</p>

	<p>に合わせて排泄が気持ちよく行えるよう支援し、同時に健康状態の把握を行った。</p> <p>③ 資質向上 新型コロナウイルス感染症予防のため、外部の研修は参加でき無かったが、朝礼、終礼等で、資質向上について何ができるか協議した。</p> <p>④ 社会資源の活用 新型コロナウイルス感染症予防のため、社会資源の活用は中止した。</p>
--	---

3.看護

重点目標及び課題	成果等
(1) 健康管理	<p>① 利用者の健康状態を観察、把握し、健康管理及び健康指導に努めた。また、緊急時には家族及び主治医との連携による迅速かつ最善の対応に努めた。</p> <p>② 感染症予防のための適切な対応及び対策の徹底に努め、感染予防に努めた。</p>

4.健康長寿地域拠点作り

平成28年度より新居浜市の事業として開始され、令和2年度も実施した。

住民が実施主体となって、自治会館等を活用した通いの場を作り、高齢者が健康づくり(PPK体操)や仲間づくりに取り組めるよう技術的な支援をすることを目的とした。

令和2年度は、新たに1拠点を開設し、8拠点で1年半の指導を終了した。また、既に指導を終了した自治会に対して、介護予防講座等の内容を含んだ継続支援の活動も新たに行った。

■担当自治会一覧

下泉久門自治会 (継続支援)	(R 2. 7月 ~ R 3. 2月)
光明寺自治会 (継続支援)	(R 2. 7月 ~ R 2. 11月)
七宝台自治会 (継続支援)	(R 2. 8月 ~ R 3. 2月)
篠場自治会 (継続支援)	(R 2. 9月 ~ R 2. 12月)
城主自治会 (継続支援)	(R 2. 10月 ~ R 2. 11月)
船木上原自治会 (継続支援)	(R 2. 8月 ~ R 3. 1月)
北内ハイツ (継続支援)	(R 2. 7月 ~ R 3. 3月)
本郷自治会 (継続支援)	(R 2. 7月 ~ R 3. 11月)
長野自治会 (継続支援)	(R 2. 11月)
東田自治会 (継続支援)	(R 2. 9月 ~ R 1. 12月)
北内中自治会 (初期・継続支援)	(R 2. 7月 ~ R 2. 10月)
岸の上自治会	(R 2. 5月)
西蓮寺自治会	(R 2. 6月 ~ R 2. 8月)
国領自治会	(R 2. 6月 ~ R 2. 11月)

みどりヶ丘自治会	(R 2. 6月 ~ R 2. 11月)
下池田自治会	(R 2. 6月 ~ R 2. 11月)
高祖自治会	(R 2. 6月 ~ R 2. 12月)
元船木自治会	(R 2. 6月 ~ R 3. 2月)
西喜光地上組自治会	(R 2. 6月 ~ R 3. 3月)
林下原自治会	(R 2. 6月 ~ 継続中)
道面自治会	(R 2. 6月 ~ 継続中)
吹上自治会	(R 2. 4月 ~ 継続中)

5.一般高齢者介護予防教室（元気もりもり教室）

平成29年度より新居浜市高齢者一般介護予防教室に新たに取り組み、令和2年度も引き続きこれを実施した。

参加者の日常生活上の課題を解決するために、運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知機能改善、セルフケア能力・ソーシャルスキルの向上プログラムを複合的に実施し、生活機能の改善を図ることを目標に教室を開催した。

7月2日~10月22日 毎週木曜日 13:30 ~ 15:30

角野公民館にて実施。参加者24名。

回数	内容
1回目	開講式、教室の説明
2回目	〈測定〉フレイルを知ろう
3回目	〈栄養〉低栄養予防
4回目	〈生活力〉公共交通機関
5回目	〈認知〉認知症を知ろう
6回目	〈口腔〉口腔ケアを身に付けよう
7回目	〈生活力〉高齢期の糖尿病
8回目	〈認知〉認知症をケアしよう
9回目	〈栄養〉骨粗鬆症と高血圧症予防
10回目	〈生活力〉もしもの時の医療
11回目	〈口腔〉誤嚥性肺炎を防ごう
12回目	〈生活力〉もしもの時の医療
13回目	〈測定〉〈認知〉認知症予防・閉講式

職員研修参加状況 (デイサービスセンターふたばの森)

月	日	内容	場所	出席者
		新型コロナウイルス感染症予防により開催無し		

【令和2年度デイサービスセンター利用状況(月別)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年 1月	2月	3月	合計
前月末 サービス登録人員	89	86	88	89	87	84	83	82	83	80	84	82	1,017
新規 サービス登録人員	2	1	4		2	3	3	1	2	5	1	4	28
月末 サービス登録人員	89	87	89	89	88	84	85	82	80	84	82	85	1,024
月間 運営日数	26	26	26	27	26	26	27	25	25	24	24	27	309
月間 利用実人員	83	80	82	80	76	76	82	80	78	79	76	77	949
月間 利用延人員	746	715	741	741	679	712	761	685	677	676	661	742	8,536
一日平均利用人数	28.7	27.5	28.5	27.4	26.1	27.4	28.2	27.4	27.1	28.2	27.5	27.5	27.6
事業対象者	2	2	3	3	4	4	5	4	4	4	4	4	43
要支援1	6	6	7	5	4	4	4	4	4	3	4	4	55
要支援2	16	15	13	13	12	11	11	10	9	10	9	8	137
要介護1	22	23	26	25	22	21	24	25	25	26	24	24	287
要介護2	23	22	21	23	23	23	24	25	25	25	24	25	283
要介護3	3	3	3	3	4	5	6	3	3	4	4	4	45
要介護4	4	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	36
要介護5	7	7	7	6	4	5	6	6	5	4	3	4	64
入浴情報(延べ)	617	589	610	598	566	600	635	565	562	542	530	597	7,011
一般浴	516	500	513	501	476	519	525	465	475	465	447	496	5,898
リフト浴	101	89	97	97	90	81	110	100	87	77	83	101	1,113
食事情報(延べ)	746	715	741	741	677	711	761	684	677	675	661	741	8,530
機能訓練/機能向上	481	461	476	459	455	471	526	516	440	476	462	519	5,742

※一日平均利用人数:27.6人

グループホームふたばの森

目標及び課題	成果等
(1) 地域福祉サービスの創造と展開	<ul style="list-style-type: none"> ① 運営推進会議の運用の中から事業所及び地域における課題等を発掘・共有し、社会資源としての役割を發揮していくため、下記のことに取り組んだ。 ② 日常的に(利用者との散歩時等に)ゴミ拾いによる地域美化活動を実践し地域社会への貢献を行った。 ③ 地域における在宅認知症高齢者のニーズに対応するため、共用型の認知症デイサービス及び認知症短期入居サービスの展開準備のため(①人材の確保 ②記録関係の業務円滑・省力化等の工夫)を行った。
(2) サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ① 愛媛県認知症介護実践者研修2名、認知症介護実践リーダー研修1名が受講し、認知症介護技術の向上及び人材の育成を図った。 ② ICT化に伴い、介護記録の効率化・内容の充実及び利用者ニーズ分析への活用をはかり、サービスの質の向上を図った。 ③ 職員自己研鑽を目的にそれぞれの職員が研修担当を持ち、年間事業所内研修計画を立案・実践した。 ④ 法人内介護実践取組(発表)への参加にてテーマに対する課題分析能力の向上を図った。
(3) 持続可能な経営基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> ① 年間稼働率97.4%となり、目標を下回った。 ② 収入の安定化 利用者ごとの健康状態の把握と不調徴候の観察強化に努め、早期対応にて重篤化・入院等の回避に努めた。 ③ 入院者が発生した場合に備え、短期利用事業の開始を行うための準備を進めた。 ④ 人件費の見直し勤務希望・特性に応じた職員の配置の見直した。
(4) その他	<ul style="list-style-type: none"> ② 介護サービスの公表項目事項の再整備・見直した。 ② 自己評価・外部評価項目の見直し・取り組んだ。

GH利用者の概要

(1)利用者の状況

令和3年3月31日

在所期間の状況

期 間	男	女	計	比率(%)
20年以上	0	0	0	0.0
15年以上～20年未満	0	0	0	0.0
10年以上～15年未満	0	0	0	0.0
7年以上～10年未満	2	4	6	33.3
5年以上～7年未満	0	0	0	0.0
3年以上～5年未満	0	4	4	22.2
1年以上～3年未満	1	2	3	16.7
1年未満	1	4	5	27.8
合 計	4	14	18	100.0

年齢構成

区分	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	合計	平均年齢
男	0	0	0	0	1	2	0	1	4	86.0
女	0	0	0	1	6	4	1	2	14	88.7
合計	0	0	0	1	7	6	1	3	18	86.7

①最高齢者は、男性95歳、女性99歳で、最も若い利用者は、男性83歳、女性78歳である。

要介護度の状況

[要介護度]

介護度	年齢区分	自 立	支 援	1	2	3	4	5	合計	平均
男性	40～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	75～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	80～84歳	0	0	0	1	0	0	0	1	2.00
	85歳以上	0	0	0	0	1	1	1	3	4.00
女性	40～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	75～79歳	0	0	0	0	1	0	0	1	3.00
	80～84歳	0	0	1	2	1	1	1	6	2.67
	85歳以上	0	0	0	1	2	2	2	7	3.71
	男 性	0	0	0	1	1	1	1	4	3.50
	女 性	0	0	1	3	4	3	3	14	3.29
	合 計	0	0	1	4	5	4	4	18	3.33
	前年度実績	0	0	0	3	3	5	7	18	3.89

(2)入退居状況

利用者状況

〔月別新規入居者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
女	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	4

〔入居前住居〕

区分	在宅	病 院			介護施設			その他施設	合計
		一般病棟	精神病棟	療養病棟	介護療養施設	老人保健施設	特別養護老人ホーム		
男	1	0	0	0	0	0	0	0	1
女	1	0	1	0	0	0	0	1	3
計	2	0	1	0	0	0	0	1	4

〔新規利用者世帯状況〕

	単身	夫婦	未婚子同居	既婚子同居	その他	合計
男	0	0	0	1	0	1
女	2	0	1	0	0	3
計	2	0	1	1	0	4

退居者状況

〔退居理由〕

	家庭復帰	入院継続	施設入居	死亡(病院)	死亡(GH)	合計
男	0	0	1	0	0	1
女	0	1	0	0	2	3
計	0	1	1	0	2	4

〔月別退居者〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3
計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	4

(3)日常生活動作状況・生活自立度・認知症の判定

日常生活動作の状況

[利用者18名]

項目	動作内容	男	女	計	項目	動作内容	男	女	計
移動	時間がかかっても介助なしに一人で歩く	1	3	4	入浴	やや時間がかかっても介助なしに一人で行える	0	0	0
	手を貸してもらうなど一部介助を要する	2	7	9		体を洗ってもらうなど一部介助を要する	2	9	11
	全面的に介護を要する	1	4	5		全面的に介護を要する	2	5	7
食事	やや時間がかかっても介助なしに食事する	2	10	12	着替	やや時間がかかっても介助なしに一人で行える	0	2	2
	おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	1	0	1		袖を通してもらうなど一部介助を要する	3	9	12
	全面的に介護を要する	1	4	5		全面的に介護を要する	1	3	4
排泄	やや時間がかかっても介助なしに一人で行える	1	1	2	整容	やや時間がかかっても介助なしに一人で行える	0	1	1
	便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	1	9	10		タオルで顔をふいてもらうなど一部介助を要する	2	7	9
	全面的に介護を要する	2	4	6		全面的に介護を要する	2	6	8

日常生活自立度（寝たきり度）

[利用者18名]

ランクJ 生活自立	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。	
	1 交通機関等を利用して外出する。	0
	2 隣近所なら外出する。	0
ランクA 準寝たきり	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。	
	1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。	0
	2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。	8
ランクB 寝たきり	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドの上での生活が主体であるが座位を保つ。	
	1 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。	4
	2 介助により車椅子に移乗する。	4
ランクC 寝たきり	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。	
	1 自力で寝返りをうつ。	0
	2 自力では寝返りもうたない。	2

認知症老人の日常生活自立度判定

[利用者18名]

項目	認知症の程度	
正常	認知症の症状無し	0
ランクⅠ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	0
ランクⅡ	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。	
	a 家庭外で上記Ⅱの状態が見られる。	0
	b 家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる。	4
ランクⅢ	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	
	a 日中を中心として、上記Ⅲの状態が見られる。	4
	b 夜間を中心として、上記Ⅲの状態が見られる。	2
ランクⅣ	日常生活に支障を来すような症状、行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要とする。	6
ランクⅤ	著しい精神症状や問題行動やあるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	2

すべての利用者にランクⅢ以上の認知症状が観察される。

受診状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均
受診人数	14	14	14	16	15	16	14	13	12	14	13	15	170	14.2	0.5
受診回数	22	24	18	31	26	21	21	20	20	29	22	26	280	23.3	0.8

入居前のかかりつけ医への受診を継続的に支援している。

入院状況

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均	1日平均 入院人数
実人数	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5	0.4	
延日数	0	0	0	0	0	22	8	28	3	11	0	0	72	6.0	0.2

行 事

実施月	1階ユニット (どんぐり)	2階ユニット (くるみ)
4月	花見 (敷地内)	花見 (敷地内)
5月	おやつづくり	おやつづくり
6月	おやつづくり	おやつづくり
7月	そうめん流し	そうめん流し
8月	おやつづくり	海鮮丼づくり
9月	おやつづくり	おやつづくり
10月	お寿司づくり	お寿司づくり
11月	おやつづくり	おやつづくり
12月	クリスマス 餅つき 海鮮丼づくり	クリスマス 餅つき
1月	初詣 (船木神社)	初詣 (船木神社) 新年会
2月	節分 ケーキ作り	節分
3月	おやつづくり	手巻きずし

コロナ禍のため、外出行事は控え、事業所内で行事を行っている。